

# DENON

## DNP-F109

ネットワークオーディオプレーヤー

# 取扱説明書

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに「保証書」・「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」と共に大切に保管してください。
- この製品は持ち込み修理対象製品です。  
出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくことになりますので、あらかじめご了承願います。詳しくは、保証書の裏面をご覧ください。

# ご使用になる前に

お買い上げいただきありがとうございます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

## 安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

### 絵表示の例

図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。



分解禁止

⊙記号は禁止の行為であることを告げるものです。



電源プラグをコンセントから抜く

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。



## 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。



### ご使用は正しい電源電圧で

必ず実施

表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



### 電源コードは大切に

必ず実施

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。



### 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは

必ず実施

電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



火気禁止

### 火や炎を近づけない

本機の上でろうそくを灯す・タバコの灰皿を使用するなどの火や炎の発生しているものを置かないでください。火災の原因となります。



禁止

### 内部に水などの液体や異物を入れない

機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



水ぬれ禁止

### 水滴や水しぶきのかかるところに置かない

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。水がかかったり、濡れた状態で使用すると火災・感電の原因となります。



分解禁止

### ねじを外したり、分解や改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



接触禁止

### 雷が鳴り出したら

機器や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

### 使用中、使用直後に高温となる部分には触らない

使用中、使用直後は上面や高温注意マークの面には触れないでください。機器の放熱のために高温となっており、触れた場合にやけどをする恐れがあります。



高温注意



禁止

### 電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。



水場での使用禁止

### 風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

### この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。



禁止

### 必ず AC 100V のコンセントに電源プラグを差し込んで使用する

本機は国内仕様です。AC 100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

# ⚠️ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

**⚠️ 必ず実施**  
**電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない**  
 電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。

**🚫 禁止**  
 根元まで差し込んでみゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。  
 また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

**🚫 禁止**  
**電源コードを熱器具に近付けない**  
 コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

**🚫 禁止**  
**電源プラグを抜くときは**  
 電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

**🚫 ぬれ手禁止**  
**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない**  
 感電の原因となることがあります。

**🔌 電源プラグをコンセントから抜く**  
**すぐに電源コンセントからプラグを抜くことができるように設置する**  
 電源のスイッチを切っても電源コンセントからは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜くことができるようにしてください。

**⚠️ 必ず実施**  
**機器の接続は説明書をよく読んでからおこなう**  
 テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従っておこなってください。

また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

**⚠️ 必ず実施**  
**電源を入れる前には音量を最小にする**  
 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

**🚫 禁止**  
**長時間音が歪んだ状態で使用しない**  
 スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

**⚠️ 必ず実施**  
**電池を使用するときは**  

- 極性表示に注意し、表示のとおり正しく入れる。
- 指定以外の電池は使用しない。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 電池は火のそばや直射日光のあたるところ、暖房器具などの高温の場所に置かないでください。
- 不要になった電池を廃棄するときはお住まいの地域の条例に従って処理してください。

間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

**🚫 禁止**  
**不安定な場所に置かない**  
 ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

**🚫 禁止**  
**次のような場所には置かない**  
 火災・感電の原因となることがあります。  

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光のあたるところや暖房器具の近くなど高温になる場所

**⚠️ 必ず実施**  
**壁や他の機器から少し離して設置する**  
 放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

**🚫 禁止**  
**ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない**  
 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

**🚫 禁止**  
**この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない**  
 特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

**🚫 禁止**  
**重いものをのせない**  
 機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

**🔌 電源プラグをコンセントから抜く**  
**移動させるときは**  
 まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

**🔌 電源プラグをコンセントから抜く**  
**長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは**  
 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

**⚠️ 注意**  
**5年に一度は内部の掃除を**  
 販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。  
 特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

## 電波に関するご注意

- ◎ 本機は電波法に基づく工事設計認証を取得した小電力データ通信システムの無線局設備を内蔵しています。
  - 本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
  - 本機は日本国内でのみ使用できます。
- ※ 次のことをおこなうと法律で罰せられることがあります。
  - 内蔵する小電力データ通信システムの無線局設備を分解/改造すること
  - 内蔵する小電力データ通信システムの無線局設備に貼ってある証明ラベルをはがすこと

この機器の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、およびアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：株式会社 ディーアンドエムホールディングス

お客様相談センター 044(670)5555

<http://denon.jp/jp/support/pages/servicecenter.aspx>

- ◎ 本機では、2.4GHzの周波数帯の電波を使用している関係で、下記機器と干渉し、音が途切れたり、雑音が発生したりする可能性があります。

### 【2.4GHzの周波数帯を使用している主な機器】

- 電子レンジ
- 無線 LAN を使用した機器  
(ノートパソコン、無線ルーター、無線 LAN 対応 AV 機器等)
- コードレスホン
- Bluetooth 対応機器
- ワイヤレス対応 AV 機器
- ワイヤレスコントローラー

- ※ 音が途切れたり雑音が発生したりする場合には、下記の方法で改善する可能性があります。

1. 干渉している機器との距離を離す。
2. 干渉している機器の電源を切る。

- ◎ ペースメーカー等の医療用電気機器をご使用の場合には、各医療用電気機器メーカーまたは販売店に電波による影響をご確認の上ご使用ください。

- ◎ 人ごみの中で使用したり、本機の間鉄筋コンクリートの壁や家具などの障害物があると、通信状態が悪くなり音が途切れたり、雑音が発生したりすることがあります。音が途切れたり、雑音が発生したりする場合には、見通しの良い場所に設置し直してください。

- ◎ 設置の距離や障害物がない場合でも、電波の反射等により受信がうまくいかない場合があります。その場合には本機の向きや位置を変えると改善することがあります。

- ◎ ラジオやテレビ、BS/CS チューナーなどの電波を使用した機器のそばで使用すると、ノイズを発生することがあります。その場合には機器から遠ざけて設置してください。

- ◎ 本機は盗聴防止機能を搭載しておりますが、第三者が故意または偶然に受信する可能性があります。

- ◎ 本機はご家庭内での音楽、映画等の再生を目的としたホームエンターテイメントシステムです。他の環境、目的での使用はおやめください。

### ◎ 現品表示について

**2.4 DS/OF 4**

- 2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。
- DS/OF : 変調方式を表します。
- 4 : 移動体識別装置の構内無線局に対して想定される干渉距離を表します(約 40 m)。
- ■ ■ : 2.4GHz 帯の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

# 目次

ご使用になる前に	2
安全上のご注意	2
目次	5
使用上のご注意	6
付属品を確認する	6
本書について	6
本機の特長	6
遠隔操作について	7

## 準備編 9

接続のしかた	10
アンプを接続する	10
DENON レシーバー DRA-F109 とのシステム接続	11
ホームネットワーク(LAN)に接続する	12
電源コードを接続する	13
設定のしかた	14
メニュー一覧	14
初期設定	
[Quick Setup]	15
一般的な設定 [General]	15
ネットワークの設定 [Network]	17

## 操作編 22

操作のしかた	23
準備	23
再生中にできる操作	23
ネットワークオーディオを再生する	24
お気に入り機能	27
iPod を再生する	28
USB メモリーを再生する	30
AirPlay 機能	32
Remote play 機能	34
その他の機能	35

## 情報編 37

各部の名前	38
フロントパネル	38
リアパネル	38
リモコン	39
その他の情報	41
iPod について	41
USB メモリーについて	41
ネットワークオーディオについて	42
用語の解説	43
故障かな?と思ったら	44
保証と修理について	47
主な仕様	47

### ステレオ音のエチケット



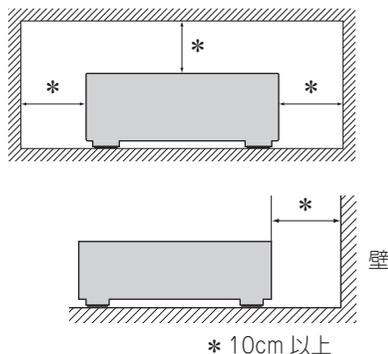
音のエチケット

- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

## 使用上のご注意

### 設置について

本機内部の放熱をよくするために、壁や他の機器との間は、十分に離して設置してください。



### 携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

### お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

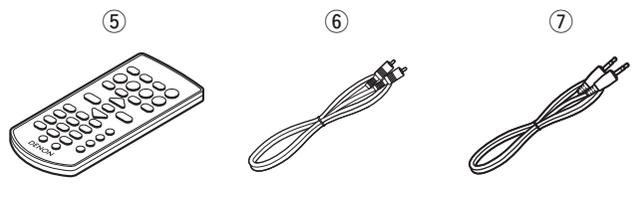
### 結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま1~2時間放置してから使用してください。

## 付属品を確認する

ご使用前にご確認ください。

① 簡単セットアップガイド .....	1
② 取扱説明書(本書) .....	1
③ 保証書(梱包箱に貼り付けています) .....	1
④ 製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内 .....	1
⑤ リモコン(RC-1164, 電池入り) .....	1
⑥ 同軸デジタルケーブル .....	1
⑦ システムケーブル .....	1



## 本書について

### □操作説明のボタンについて

本書の操作説明は、リモコンの操作ボタンをメインに説明しています。

### □マークについて

 このマークは、関連情報を記載している参照先のページをあらわします。

 このマークは、補足説明や操作上のアドバイスをあらわします。

**ご注意** このマークは、操作時に留意していただきたい注意点や、機能の制約などをあらわします。

### □イラストについて

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので実物と異なる場合があります。

## 本機の特長

インターネットラジオなどのネットワーク機能に加え、AirPlay<sup>®</sup> 機能を搭載 (P.32 ページ)

DLNA ver. 1.5 のオーディオネットワークをサポート

vTuner を利用してインターネットラジオラジオステーション検索

Android スマートフォンまたは iPhone<sup>®</sup> や iPod touch<sup>®</sup> で本機の基本的な操作がおこなえる“Denon Remote App”に対応

iPhone や iPod<sup>®</sup> の再生に対応した USB 端子搭載 (P.28 ページ)

良好な通信状態を維持するダイバーシティアンテナを内蔵し、簡単にネットワーク接続可能な WPS 方式に対応した Wi-Fi 機能

Wi-Fi 接続にて、オーディオファイルを再生したときの通信安定性を向上させる WMM (Wi-Fi Multimedia) をサポート

3行表示可能な有機 EL ディスプレイ搭載

電力消費をおさえるオートスタンバイモード

## 遠隔操作について

### リモコンについて

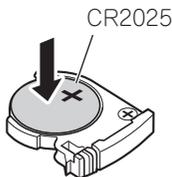
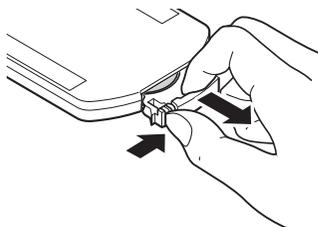
#### □ご使用になる前に

リモコンを使用する前に絶縁シートを外します。



#### □電池の入れかた

- ① 裏ぶたを矢印の方向に引き上げる。
- ② リチウム電池を電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



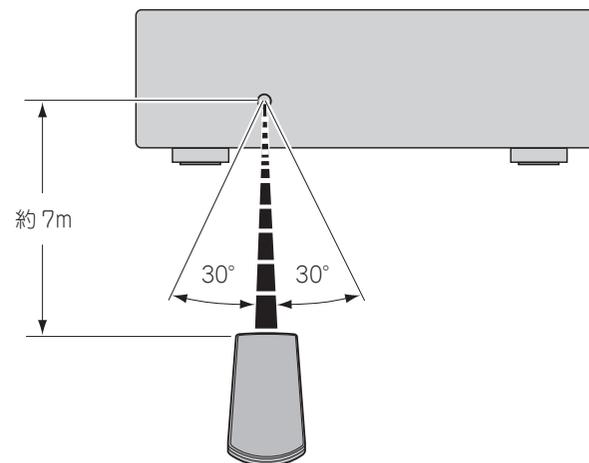
- ③ 裏ぶたを元どおりにする。

#### ご注意

- リモコンにはリチウム電池をお使いください。
- リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい電池と交換してください。(付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。)
- 電池は、リモコンの電池収納部の表示どおりに ⊕ 側・⊖ 側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしないでください。
  - 電池を直射日光のあたるところや暖房器具の近くなど高温になるところに置かないでください。
- 万一、電池の液漏れがおこったときは、電池収納部に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り出してください。
- 不要になった電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例に従って処理をしてください。

#### □リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。



#### ご注意

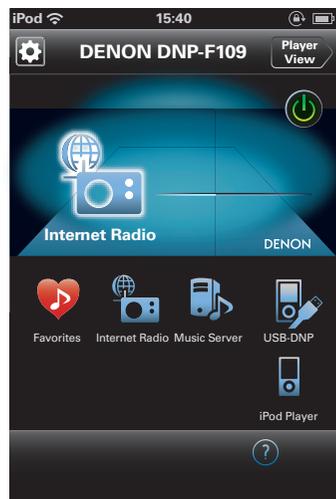
- リモコン受光部に直射日光やインバーター式蛍光灯の強い光または赤外線があたると、誤動作をしたり、リモコンが操作できなくなる場合があります。
- 3D 映像機器を構成している各ユニット(モニター、3D 視聴用メガネ、3D 信号伝送ユニットなど)間の信号の伝送を無線通信(赤外線通信など)でおこなっている 3D 映像機器をお使いの場合、その無線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。そのときは 3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。

## デノン・リモート・アプリ Denon Remote App について

デノン・リモート・アプリ  
Denon Remote App は iPhone や iPod touch 用に開発された独自のアプリケーションです。

ご家庭の DENON 製ネットワーク機器のコントロールをおこないます。

このアプリをインストールするとお手持ちの iPhone や iPod touch から本機の操作がおこなえます。



- 双方向通信をおこないます。
- Denon Remote App は App Store から無料でインストールできます。

## 準備編

ここでは、本機の基本的な接続や操作方法について説明しています。

- 接続のしかた  10 ページ
- 設定のしかた  14 ページ

# 接続のしかた

システム接続については「DENON レシーバー-DRA-F109 とのシステム接続」(P.11 ページ) もあわせてご覧ください。

## ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しく L と L、R と R を接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。ハムや雑音の原因になります。

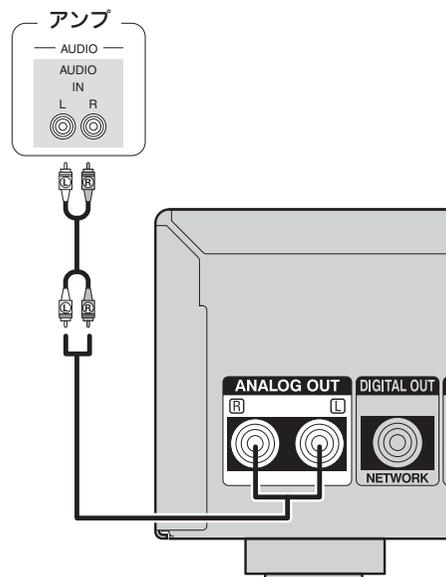
## 接続に使用するケーブル

ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

音声ケーブル(付属)	
同軸デジタルケーブル	
システムケーブル	
音声ケーブル(別売り)	
オーディオケーブル	

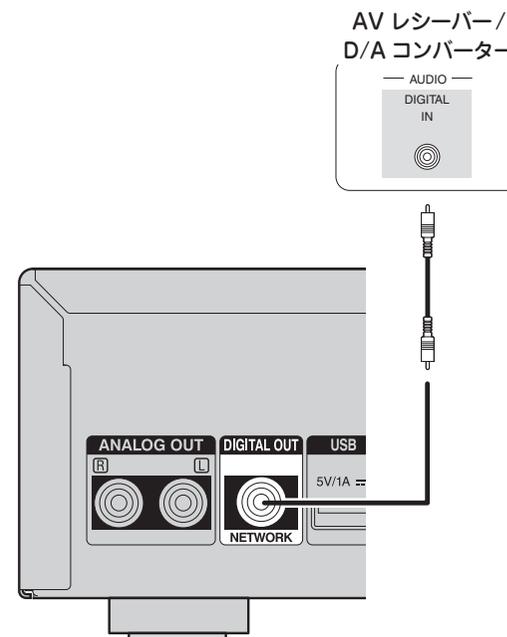
## アンプを接続する

### アナログ接続



### デジタル接続

本機に AV レシーバーや D/A コンバーターなどのデジタル機器を接続すると、本機から出力するデジタル音声を楽しむことができます。

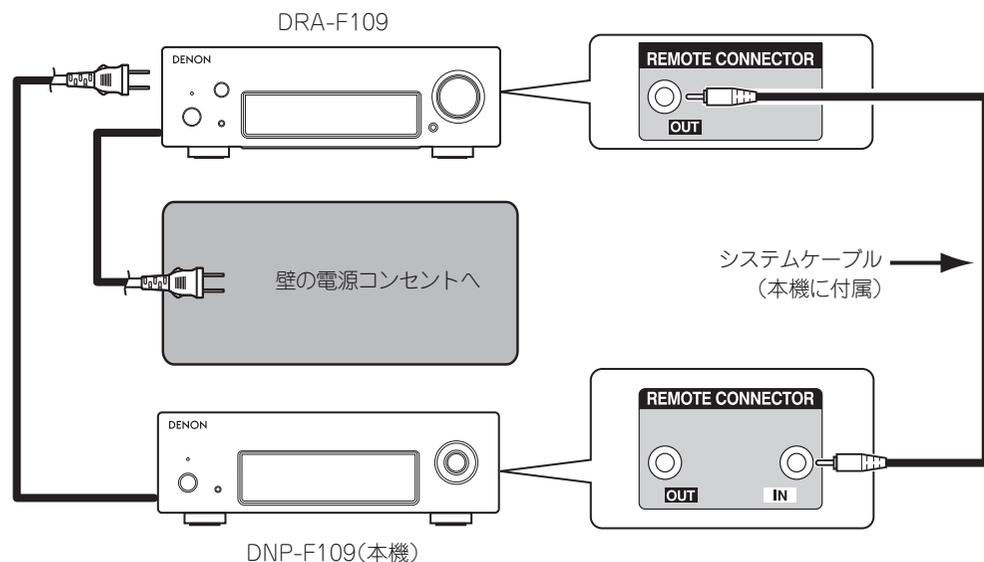


## DENON レシーバー DRA-F109 とのシステム接続

本機と DENON レシーバー DRA-F109 を付属の同軸デジタルケーブルとシステムケーブルを使用してシステム接続すると、各種システム動作や iPhone、iPod touch の DENON Remote App を使用して F109 システムを操作することができます。

### ご注意

- システム接続の音声接続にはデジタル音声接続をしてください。アナログ音声ケーブルで接続すると、一部のシステム動作がはたらかません。
- システムケーブルは図のとおり、IN と OUT を接続してください。正しく接続しないとシステム動作がはたらかません。
- 本機は DENON システムオーディオ F109 シリーズのみとシステム接続できます。F109 シリーズ以外の機器とシステム接続をしないでください。
- DCD-F109 (CD プレーヤー、別売り) を接続する場合は、DRA-F109 (ステレオレシーバー、別売り) の取扱説明書に記載の接続方法を参照してください。

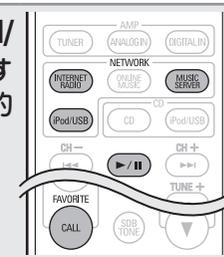


## この接続でできること

### □DRA-F109 のシステムリモコンでの本機の操作

### □オートパワーオン機能

▶/III、INTERNET RADIO、MUSIC SERVER、iPod/USB (NETWORK) または FAVORITE CALL を押すと、対応する機器および DRA-F109 の電源が自動的に入ります。



### □アラーム機能

- DRA-F109 のアラーム機能を使用して設定した時間に再生をおこなえます。
- 詳しくは、DRA-F109 (ステレオレシーバー、別売り) の取扱説明書をご覧ください。

### □オートスタンバイ機能

本機または DRA-F109 のオートスタンバイ機能をオンに設定すると、F109 システム全体にオートスタンバイ機能がはたらかみます。



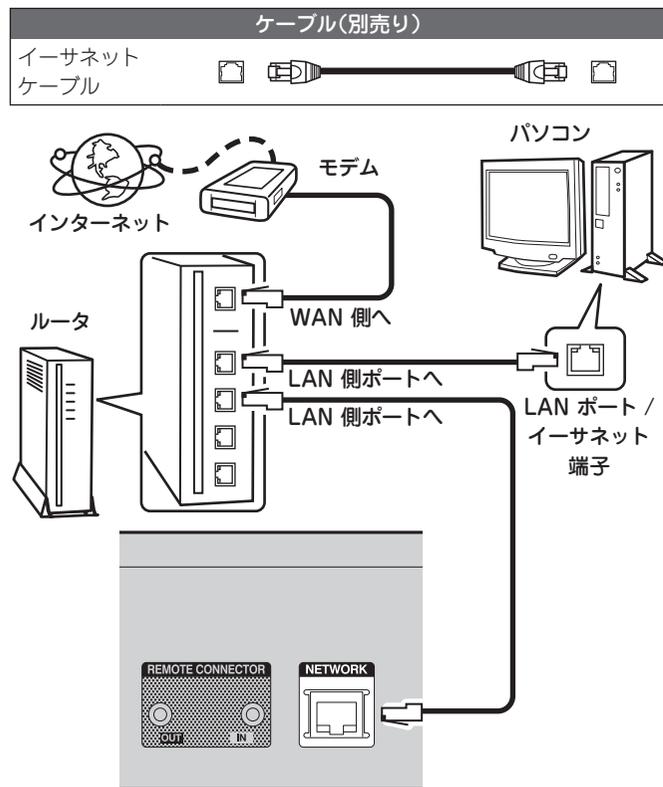
オートスタンバイ機能については、15 ページをご覧ください。

## ホームネットワーク(LAN)に接続する

- 本機をホームネットワークに接続すると、パソコンに保存されている音楽ファイルやインターネットラジオの音声などをお楽しみいただけます。
- ネットワーク機能を使用して、最新のファームウェアにアップデートすることができます。  
詳しくは、「Firmware Update(ファームウェアのアップデート)」(P.15 ページ)をご覧ください。
- ネットワーク設定が必要です。「ネットワークの設定 [Network]」(P.17 ページ)をご覧ください。

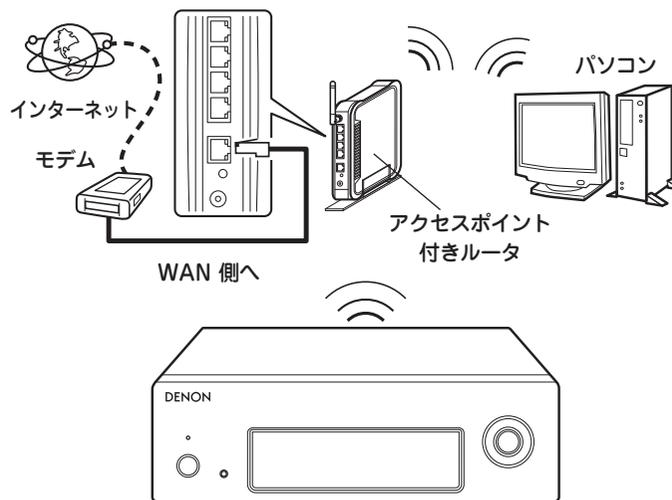
## 有線 LAN

### 接続に使用するケーブル



インターネットの接続については、ISP(インターネット・サービスプロバイダ)またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。

## 無線 LAN



### ご注意

障害物がある場合は、通信が中断されることがあります。この問題が発生した場合は、障害がない場所に装置を置いてください。

## 必要なシステム

### □ブロードバンド回線によるインターネット接続

#### □モデム

ブロードバンド回線と接続して、インターネットと通信をおこなうための機器です。  
ルータと一体型のものもあります。

#### □ルータ

本機を使用するにあたって、次の機能が装備されているルータをおすすめします。

- DHCP サーバー内蔵  
LAN 上の IP アドレスを自動的に割り振る機能です。
- 100BASE-TX スイッチ内蔵  
複数の機器を接続するために、100Mbps 以上の速度で、スイッチングハブを内蔵していることをおすすめします。
- 無線 LAN で使用するときには、アクセスポイント内蔵のルータを用意してください(P.19 ページ)。

### □イーサネットケーブル(CAT-5 以上を推奨)

- STP タイプまたは ScTP タイプのシールド LAN ケーブルをお使いください。
- イーサネットケーブルは、シールド付きのノーマルタイプをおすすめします。フラットタイプのケーブルやシールドされていないケーブルをご使用になると、ノイズが他の機器に影響を及ぼす可能性があります。



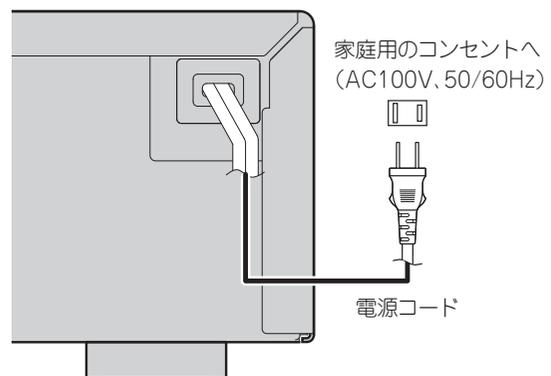
- ネットワークの設定を手動でおこなうタイプの回線で、プロバイダ契約を結んでいる場合は、「ネットワーク接続 (“DHCP” の設定が “Off” のとき)」(P.18 ページ)をおこなってください。
- 本機は DHCP 機能や Auto IP 機能を使用して、自動的にネットワークの設定をおこなうことができます。
- ブロードバンドルータ(DHCP 機能)をご使用の場合は、本機が自動的に IP アドレスなどの設定をおこないます。DHCP 機能のないネットワークに本機を接続してご使用になる場合は、「ネットワーク接続 (“DHCP” の設定が “Off” のとき)」(P.18 ページ)で、IP アドレスなどの設定をおこなってください。
- 手動で設定する場合は、設定内容をネットワーク管理者に確認してください。

### ご注意

- インターネットに接続するには、ISP と契約する必要があります。
- すでにブロードバンド回線を使用してインターネットに接続されている場合は、新たに契約する必要はありません。
- ISP 業者によって使用できるルータの種類が異なります。詳しくは、ISP 業者またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。
- 当社では、お客様のネットワーク環境および接続機器に関する通信エラーや不具合については一切責任を負いかねます。
- 本機は PPPoE に対応していません。PPPoE で設定するタイプの回線契約を結んでいる場合は、PPPoE 対応のルータが必要です。
- イーサネット端子は、直接パソコンの LAN ポート / イーサネット端子と接続しないでください。
- オーディオストリームをおこなう場合は、オーディオストリーム対応のルータを使用してください。

## 電源コードを接続する

すべての接続が終わってから電源プラグをコンセントへ差し込んでください。



### ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 電源プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。

# 設定のしかた

## メニュー一覧

設定項目	詳細設定	内容	参照ページ		
<b>Quick Setup</b> 	<b>Quick Setup</b>	ネットワークの各種設定値を表示します。 操作のしかたについては、別紙の「簡単セットアップガイド」をご覧ください。	-		
<b>General</b> 	<b>Auto-Standby</b>	未使用時、本機の電源をスタンバイにします。	15		
	<b>Firmware</b>	<b>Update</b>	ファームウェアをアップデートします。	15	
		<b>Notification</b>	アップデートの通知のオン / オフを設定します。	16	
		<b>Add New Feature</b>	ダウンロード可能な新機能を表示し、アップグレードします。	16	
<b>Network</b> 	<b>Network Information</b>	ネットワークの各種情報を表示します。	-		
	<b>Network Control</b>	スタンバイ時のネットワーク機能のオン / オフを設定します。	21		
	<b>Friendly Name</b>	ネットワーク上で表示される名前を設定します。	21		
	<b>Settings</b>		有線 LAN 接続または無線 LAN 接続の設定をします。	17	
			有線 LAN 接続の設定をします。	17	
		<b>When making wired connection</b>	<b>DHCP (On) または DHCP (Off)</b>	DHCP の設定をします。	18
			<b>IP Address*</b>	IP アドレスの設定をします。	18
			<b>Subnet Mask*</b>	サブネットマスクを入力します。	18
			<b>Gateway*</b>	ゲートウェイの設定をします。	18
			<b>Primary DNS*</b>	プライマリ DNS を入力します。	18
			<b>Secondary DNS*</b>	セカンダリ DNS を入力します。	18
		<b>Wired Setup</b>	<b>Proxy</b>	プロキシの設定をします。	18
			<b>Test Connection</b>	有線 LAN へ接続します。	17
				無線 LAN 接続の設定をします。	19
			<b>When making Wi-Fi connection</b>	<b>Auto-Scan</b>	無線接続をアクセスポイント一覧から選び、設定します。
<b>WPS (Wi-Fi Protected Setup)</b>	無線接続を WPS 方式で設定します。	19			
<b>Manual</b>	無線接続を手動で設定します。	20			

\* “DHCP” の設定 (18 ページ) が “Off” のときに表示します。

## 初期設定 [Quick Setup]

- “Quick Setup” の操作のしかたについては、別紙の「簡単セットアップガイド」をご覧ください。
- “Quick Setup” メニューをキャンセルした場合、またはネットワーク環境を変更した場合は、“Setup”⇒“Quick Setup”から設定してください。

## 一般的な設定 [General]

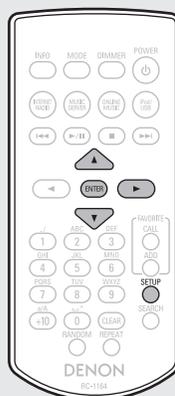
### Auto-Standby(オートスタンバイ)

オートスタンバイを“On”に設定して、停止状態で30分以上操作しない状態が続くと、本機は自動的にスタンバイモードになります。

- お買い上げ時の設定は“Off”です。

#### 1 SETUP を押す。

メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(▶14 ページ「メニュー一覧」)。



#### 2 △▽とENTERを押して“General”⇒“Auto-Standby”を選び、ENTERまたは▷ボタンを押す。

“Select Auto-Standby”メニューを表示します。

#### 3 △▽を押して“On”を選び、ENTERまたは▷を押す。

設定を確認します。

#### ご注意

次のときはオートスタンバイ機能ははたらきません。

- 入カソースが“Internet Radio”、“iPod/USB” (Remote mode)または“AirPlay”で再生しているとき

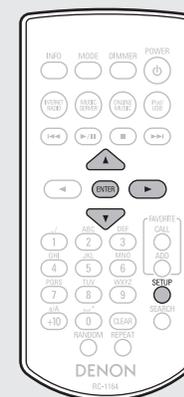
### Firmware(ファームウェア)

#### □Update(アップデート)

- ファームウェアをアップデートするためには、インターネットプロキシに接続できる環境と設定が必要です(▶12 ページ)。
- ファームウェアアップデートの操作は、本機の電源をオンにして2分以上経過してからおこなってください。

#### 1 SETUP を押す。

メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(▶14 ページ「メニュー一覧」)。



#### 2 △▽とENTERを押して“General”⇒“Firmware”⇒“Update”を選び、ENTERまたは▷を押す。

**Check for Update** ファームウェアが最新かどうかの確認ができます。また、アップデートする場合のおよそのアップデート時間を確認できます。

**Update Start** アップデートを実行します。

- アップデートに失敗しても、本機は自動的にアップデートを再試行します。それでもアップデートできない場合は、次のいずれかのメッセージをディスプレイに表示します。このような場合は、設定やネットワーク環境の確認をおこなった上で、再度アップデートしてください。

ディスプレイ表示	説明
Updating fail	アップデートに失敗しました。
Login failed	サーバーへのログインに失敗しました。
Server is busy	サーバーが混雑しています。しばらく時間をおいてから、やり直してください。
Connection fail	サーバーへの接続に失敗しました。
Download fail	ファームウェアのダウンロードに失敗しました。

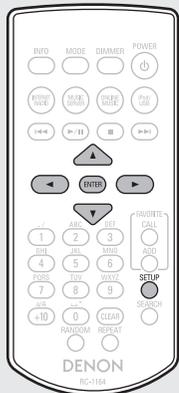
## □Notification(通知)

### Update(アップデート)

“Update”で最新のファームウェアがリリースされている場合に、本機のメニュー画面に通知メッセージを表示します。この機能をご使用になるときは、インターネットブロードバンドに接続してください(12 ページ)。

#### 1 SETUP を押す。

メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(14 ページ「メニュー一覧」)。



#### 2 △▽ を押して“General”⇒“Firmware”⇒“Notification”⇒“Update”を選び、ENTER または ▷ を押す。

“Update Notification”メニューを表示します。

#### 3 △▽ を押して“On”を選び、ENTER または ▷ を押す。

**On** アップデートの通知を表示します。  
•お買い上げ時の設定です。

**Off** アップデートの通知を表示しません。



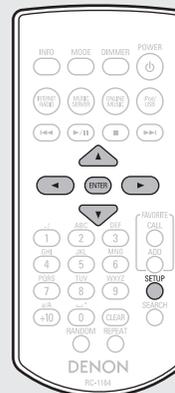
- 通知メッセージが表示されている間に **ENTER** を押すと、“Check for Update”を表示します。(“Update”の詳細は、15、17 ページをご覧ください。)
- 通知メッセージを閉じるときは、◀ を押してください。

## Upgrade(アップグレード)

“Add New Feature”でダウンロード可能なファームウェアがリリースされている場合に、本機のメニュー画面に通知メッセージを表示します。この機能をご使用になるときは、インターネットブロードバンドに接続してください(12 ページ)。

#### 1 SETUP を押す。

メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(14 ページ「メニュー一覧」)。



#### 2 △▽ を押して“General”⇒“Firmware”⇒“Notification”⇒“Upgrade”を選び、ENTER または ▷ を押す。

“Upgrade Notification”メニューを表示します。

#### 3 △▽ を押して“On”を選び、ENTER または ▷ を押す。

**On** アップグレードの通知を表示します。  
•お買い上げ時の設定です。

**Off** アップグレードの通知を表示しません。



- 通知メッセージが表示されている間に **ENTER** を押すと、“Add New Feature”を表示します。(“Add New Feature”の詳細は、16 ページをご覧ください。)
- 通知メッセージを閉じるときは、◀ を押してください。

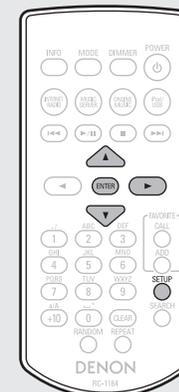
## □Add New Feature(新機能の追加)

- 新機能を追加するためには、インターネットブロードバンドに接続できる環境と設定が必要です(12 ページ)。
- 新機能の追加の操作は本機の電源をオンにして2分以上経過してからおこなってください。

#### 1 SETUP を押す。

メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(14 ページ「メニュー一覧」)。

#### 2 △▽ を押して“General”⇒“Firmware”⇒“Add New Feature”を選び、ENTER または ▷ を押す。



**Upgrade Status** アップグレードによって追加された機能の一覧を表示します。

**Upgrade Start** アップグレードを実行します。

- アップグレードができなかった場合は、ディスプレイに“アップデート”(15 ページ)と同様のメッセージを表示します。この場合は、ネットワーク環境を確認し、再度アップデートしてください。

**Upgrade ID** お手続きの際には、この画面に表示されている ID 番号が必要になります。



アップグレードをご使用になる場合の詳細については、当社ホームページをご覧ください。  
お手続きが完了すると、ディスプレイに“Registered”を表示し、アップグレードします。お手続きされていない場合は、“Not Registered”を表示します。

## 【“Update”および“Add New Feature”をおこなったときのご注意】

- アップデート / アップグレードが終わるまで、絶対に電源を切らないでください。
- アップデート / アップグレードが完了するまでに、ブロードバンド接続でも 20 分程度の時間がかかります。
- 一旦アップデート / アップグレードを開始すると、本機は完了するまで通常の操作ができなくなります。また、本機に設定したパラメータなどのバックアップデータが初期化される場合があります。
- アップデートやアップグレード中に更新が失敗した場合は、電源コードを再度挿入してください。ディスプレイに“Update Retry”を表示し、失敗したところから更新を再開します。それでも失敗が続く場合は、ネットワークの環境を確認してください。



- “Update” および “Add New Feature” に関する情報は、その計画が明らかになるたびに当社ホームページなどで告知する予定です。
- “Update” や “Add New Feature” で使用可能な新しいファームウェアがリリースされると、メニュー画面に通知メッセージを表示します。表示させたくない場合は、“Notification” ⇨ “Update” (16 ページ) および “Notification” ⇨ “Upgrade” (16 ページ) を “Off” に設定してください。



## ネットワークの設定 [Network]

## 有線 LAN の接続

有線 LAN 接続の設定をします。

## □ネットワーク接続(“DHCP” の設定が “On” のとき)

ブロードバンドルータ(DHCP 機能)をご使用の場合は、本機が自動的に IP アドレスなどの設定をおこないます。

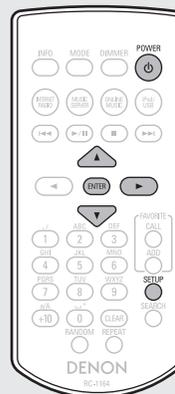
**1** イーサネットケーブルを接続する(12 ページ「ホームネットワーク(LAN)に接続する」⇨“有線 LAN”)。

**2** POWER ❶ を押して、本機の電源を入れる。

**3** SETUP を押す。  
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(14 ページ「メニュー一覧」)。

**4** △▽ と ENTER を押して“Network” ⇨ “Settings” ⇨ “DHCP (On)”を選び、ENTER または ▷ を押す。  
“Select DHCP”メニューを表示します。

**5** △▽ を押して“On”を選び、ENTER または ▷ を押す。  
“DHCP (On)”メニューを表示します。



**6** △▽ を押して“Test Connection”を選び、ENTER または ▷ を押す。

“Wait for the network to connect...”を表示し、ネットワークへの接続をはじめます。

- ネットワークに接続できた場合には、“Connected!”を表示します。
- ネットワークに接続できなかった場合には“Connection Failed”を表示しますので、手順 1～6 をやり直してください。



ご使用のプロバイダによっては手動で設定する必要があります。手動で設定する必要がある方は「ネットワーク接続(“DHCP”の設定が“Off”のとき)」の手順で設定をおこなってください。

## □ネットワーク接続(“DHCP”の設定が“Off”のとき)

DHCP 機能のないネットワークに本機を接続してご使用になる場合の設定のしかたについて説明します。



手動で設定する場合は、設定内容をネットワーク管理者に確認してください。

### 1 「ネットワーク接続(“DHCP”の設定が“On”のとき)」の手順1～4をおこない、手順5で“Off”を選ぶ。

“DHCP (Off)”メニューを表示します。

### 2 △▽を押して“IP Address”を選び、ENTER または ▷を押す。

“Enter IP Address”メニューを表示します。

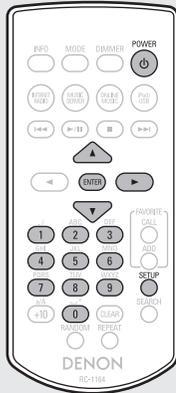
### 3 △▽ ▷ または 0～9 を押してIPアドレスを入力し、ENTER を押す。

### 4 △▽ ▷ または 0～9 を押して“Subnet Mask”、“Gateway”、“Primary DNS”、“Secondary DNS”にアドレスを入力する。

### 5 △▽を押して“Test Connection”を選び、ENTER または ▷を押す。

“Wait for the network to connect...”を表示し、ネットワークへの接続をはじめます。

- ネットワークに接続できた場合には、“Connected!”を表示します。
- ネットワークに接続できなかった場合には“Connection Failed”を表示しますので、手順1～5をやり直してください。



## □プロキシの設定

プロキシサーバーを経由してインターネットに接続する場合に設定します。

### 1 SETUP を押す。

メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(14 ページ「メニュー一覧」)。

### 2 △▽とENTERを押して“Network”⇒“Settings”⇒“Proxy”を選び、ENTER または ▷を押す。

“Setup Proxy”メニューを表示します。

### 3 “Proxy (On)”と表示された場合は手順5へ、“Proxy (Off)”と表示された場合はENTER または ▷を押す。

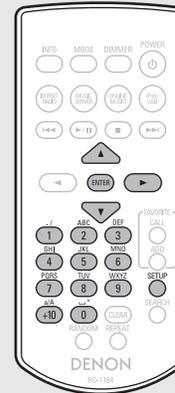
“Select Proxy”メニューを表示します。

### 4 △▽を押して“On”を選び、ENTER または ▷を押す。

“Setup Proxy”メニューを表示します。

### 5 △▽を押して“Proxy (Address)”または“Proxy (Name)”を選び、ENTER または ▷を押す。

“Select Type”メニューを表示します。



### 6 △▽を押して“Address”または“Name”を選び、ENTER または ▷を押す。

“Setup Proxy”メニューを表示します。

### 7 △▽を押して“Address”または“Name”を選び、ENTER または ▷を押す。

“Enter Proxy Address”または“Enter Proxy Name”メニューを表示します。

### 8 △▽ ▷ または 0～9、+10 を押してアドレスまたはドメイン名を入力し、ENTER を押す。

“Setup Proxy”メニューを表示します。

### 9 △▽を押して“Port”を選び、ENTER または ▷を押す。

“Enter Proxy Port”メニューを表示します。

### 10 △▽ ▷ または 0～9 を押してプロキシサーバーのポート番号を入力し、ENTER を押す。

プロキシの設定を終了します。

## 無線 LAN の接続

無線 LAN の接続の設定をします。

### □Auto-Scan(無線 LAN)

LAN ケーブルを接続している場合は、LAN ケーブルを外してください。

**1** POWER  $\odot$  を押して、本機の電源を入れる。

**2** SETUP を押す。

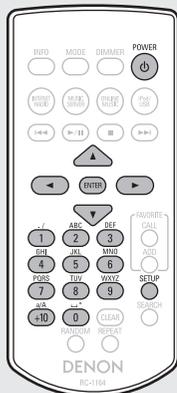
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(14 ページ「メニュー一覧」)。

**3**  $\Delta$ / $\nabla$  と ENTER を押して“Network” $\Rightarrow$ “Settings” $\Rightarrow$ “Auto-Scan”を選び、ENTER または  $\triangleright$  を押す。

設定済みのアクセスポイントを表示します。

**4**  $\Delta$ / $\nabla$  を押してアクセスポイントを選び、ENTER または  $\triangleright$  を押す。

• アクセスポイントが自動で検索できない場合は手動で設定してください(20 ページ「手動設定」)。



**5** 手順 4 で選んだアクセスポイントに暗号化設定がある場合には、パスワードを入力する。

$\Delta$ / $\nabla$   $\triangleleft$ / $\triangleright$  または 0~9、+10 でパスワードを入力し、ENTER または  $\triangleright$  を押す。アクセスポイントと同じパスワードを入力します。

• 入力できる文字の種類は次のとおりです。

【英小文字】

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

【英大文字】

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

【記号】 ! " # \$ % & ' ( ) \* + , - . / : ; < = > ? @ [ \ ]

^ \_ ` { | } ~

【数字】 0123456789 (空白)

• インターネットの接続設定で、セキュリティの設定をしていない場合には、この設定は必要ありません。

### □WPS 設定(押しボタン方式)

**1** SETUP を押す。

メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(14 ページ「メニュー一覧」)。

**2**  $\Delta$ / $\nabla$  と ENTER を押して“Network” $\Rightarrow$ “Settings”

$\Rightarrow$ “WPS(Wi-Fi Protected Setup)”を選び、ENTER または  $\triangleright$  を押す。

ディスプレイに“Push Button”を表示します。

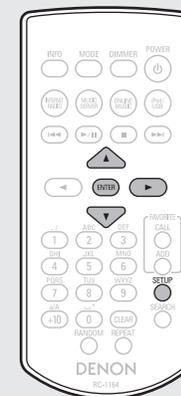
**3** ルーターの WPS ボタンを押す。

**4** ENTER を押して、“Push Button”を確定する。

- アクセスポイントへの接続が確定されると、“Connected!”を表示します。
- ネットワークに接続できなかった場合は、“Connection Failed”を表示します。再度、手順 2~4 をおこなってください。

#### ご注意

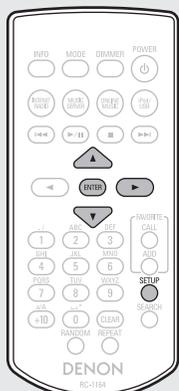
ルーターが WEP、WPA-TKIP または WPA2-TKIP 暗号化を使用している場合は WPS セットアップを使用することはできません。“Auto Scan”または“Manual”を使用してください。



## □WPS 設定(PIN コード方式)

## 1 SETUP を押す。

メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(14 ページ「メニュー一覧」)。



## 2 △▽ と ENTER を押して “Network” ⇨ “Settings” ⇨ “WPS” ⇨ “PIN Code” を選び、ENTER または ▷ を押す。

設定済みのアクセスポイントを表示します。

## 3 △▽ を押して PIN コードを表示させたいアクセスポイントを選び、ENTER または ▷ を押す。

PIN コード番号を表示します。

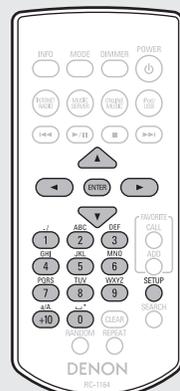
## 4 この PIN コードをアクセスポイントに登録する。

アクセスポイントへの接続が確定されると、“Connected!” を表示します。

## □手動設定

## 1 SETUP を押す。

メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(14 ページ「メニュー一覧」)。



## 2 △▽ と ENTER を押して “Network” ⇨ “Settings” ⇨ “Manual” を選び、ENTER または ▷ を押す。

## 3 △▽ を押して “SSID” を選び、ENTER または ▷ を押す。

## 4 △▽◀▶ または 0~9、+10 を押して無線ネットワーク名(SSID)を入力し、ENTER を押す。

•入力できる文字の種類は次のとおりです。

【英小文字】  
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz  
【英大文字】  
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
【記号】  
!“#\$%&’()\*+,-./:;<=>?@[ \ ] ^\_`{|}~  
【数字】  
0123456789 (空白)

## 5 △▽ を押して “Security” を選び、ENTER または ▷ を押す。

## 6 △▽ を押して次の項目を選び、ENTER または ▷ を押す。

**None** 暗号化していない場合に選びます。暗号化しなくても使用できますが、セキュリティ向上のため、暗号化することをおすすめします。

WEP / WPA-PSK(TKIP) /

WPA-PSK(AES) / WPA2-PSK(TKIP) /

WPA2-PSK(AES)

お使いのアクセスポイントの暗号化設定に合わせて、暗号化方式を選びます。

## 7 △▽ を押して “Password” を選び、ENTER を押す。

## 8 △▽◀▶ を押してパスワードを入力し、ENTER を押す。

アクセスポイントと同じパスワードを入力します。

- インターネットの接続設定でセキュリティの設定をしていない場合には、この設定は必要ありません。
- “WEP”で暗号化されているネットワークに接続する場合は、アクセスポイントの“Default Key”を“Key 1”に設定してください。

## 9 ▽ を押して “Test Connection” を選び、ENTER または ▷ を押す。

“Wait for the network to connect...” を表示し、ネットワークへの接続をはじめます。

- 本機は、DHCP 機能によりネットワークの設定を自動的におこないます。

## ご注意

本機は WEP(TSN)との互換性はありません。

## Other Network (その他のネットワーク設定)

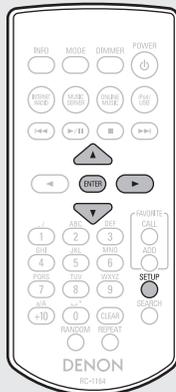
### □Network Control

#### (ネットワークコントロールの設定)

スタンバイ時のネットワーク機能の On/Off を設定します。

#### 1 SETUP を押す。

メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(▶14 ページ「メニュー一覧」)。



#### 2 △▽ を押して“Network” ⇨ “Network Control” を選び、ENTER または ▷ を押す。

“Network Control” メニューを表示します。

#### 3 △▽ を押して“On” を選び、ENTER または ▷ を押す。

**On** スタンバイ時でも、ネットワーク機能を停止しません。ネットワーク対応のコントローラーを使用して本機を操作できます。ネットワークの接続が完了するまでの時間が短くなります。

- “On” に設定すると、スタンバイ時に電源表示が赤色に点灯します。
- スタンバイ時の待機電力を多く消費します(消費電力：6W)。

**Off** スタンバイ時に、ネットワーク機能を停止します。ネットワークの接続が完了するまでの時間が多くなります。

- スタンバイ時の待機電力をおさえることができます(消費電力：0.2W)。
- お買い上げ時の設定です。

#### 4 SETUP を押す。

ディスプレイが通常表示に戻ります。

### □Friendly Name (フレンドリーネーム)

ネットワーク上に表示される名前を最大 63 文字まで編集できます。

#### 1 SETUP を押す。

メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(▶14 ページ「メニュー一覧」)。

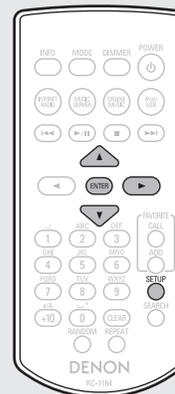
#### 2 △▽ を押して“Network” ⇨ “Friendly Name” を選び、ENTER または ▷ を押す。

“Friendly Name” メニューを表示します。

#### 3 フレンドリーネーム(DENON DNP-F109)を選び、ENTER を押す。

#### 4 フレンドリーネームの編集をおこなう。

- 文字の入力方法については、35 ページをご覧ください。



### □フレンドリーネームをデフォルト設定にリセットする

手順 3 で“Default”を選び、ENTER を押す。

## 操作編

ここでは、本機をより使いこなすことができる機能や操作について説明しています。

- 準備  23 ページ
- 再生中にできる操作  23 ページ
- ネットワークオーディオを再生する  24 ページ
- お気に入り機能  27 ページ
- iPod を再生する  28 ページ
- USB メモリーを再生する  30 ページ
- AirPlay 機能  32 ページ
- Remote Play 機能  34 ページ
- その他の機能  35 ページ

# 操作のしかた

ここでは、再生の操作を説明します。

## 準備

### 電源を入れる

**POWER** を押す。

電源表示が緑色に点灯し、電源が入ります。



- お買い上げ後、初めて電源を入れたときに“Quick Setup”メニューが起動します。“Quick Setup”の操作のしかたについては、別紙の「簡単セットアップガイド」をご覧ください。
- “Quick Setup”メニューをキャンセルした場合、またはネットワーク環境を変更した場合は、“Setup”⇒“Quick Setup”から設定してください。

### 電源をスタンバイにする

**POWER** を押す。

スタンバイ状態になります。

- 電源表示について  
電源スタンバイ時：Off  
ネットワークコントロール“On”時：赤色  
iPod チャージスタンバイ時：赤色



#### ご注意

電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

#### 電源を完全に切るには

電源コードを壁のコンセントから抜いてください。

## 再生中にできる操作

### 入カソースを切り替える

#### 本体で入カソースを選ぶ

- 1 SOURCE** を押す。  
ディスプレイが入カソース選択画面になります。
- 2** **△▽** を押して入カソースを選び、**▶/|| ENTER** または **▷** を押す。  
ボタンを押すたびに、入カソースが切り替わります。



iPhone、iPod touch の音楽ファイルや iTunes の音楽を本機で再生できます(32 ページ「AirPlay 機能」)。

#### リモコンの操作で入カソースを選ぶ

入カソース選択ボタン(**INTERNET RADIO**、**MUSIC SERVER** または **iPod/USB**)を押す。  
入カソースをダイレクトに選べます。



### ディスプレイの明るさを切り替える

**DIMMER** を押す。



- ボタンを押すたびに、ディスプレイの明るさが切り替わります。



“消灯”に設定しているときにボタン操作をおこなうと、一時的に“暗い”の明るさで点灯します。

## ネットワークオーディオを再生する

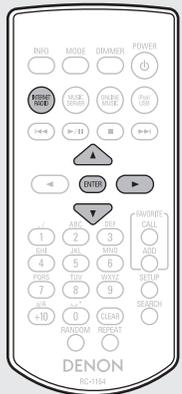
インターネットラジオやパソコンに保存されている音楽ファイルを再生できます。

- **インターネットラジオ機能について** (P.42 ページ)
- **ミュージックサーバー機能について** (P.42 ページ)

### インターネットラジオを聴く

#### 1 再生の準備をする。

- ① ネットワーク環境を確認してから、本機の電源を入れる (P.23 ページ「電源を入れる」)。
- ② 設定が必要な場合は、「ネットワークの設定[Network]」(P.17 ページ)をおこなう。



#### 2 INTERNET RADIO を押して、入力ソースを“Internet Radio”に切り替える。

- 本体のボタンで入力ソースを選ぶ方法については、「本体で入力ソースを選ぶ」(P.23 ページ)をご覧ください。

#### 3 △▽ を押して再生したい項目を選び、ENTER または ▷ を押す。

#### 4 放送局リストが表示されるまで、手順 3 をくり返す。 放送局リストを表示します。

- ディスプレイ表示に対応していない文字は、“.” (ピリオド) または“ ” (空白)に置き換えて表示します。

#### 5 △▽ を押して放送局を選び、ENTER または ▷ を押す。 バッファリングが“100%”表示になると、再生がはじまります。



- インターネット上には数多くのインターネットラジオ局があり、各ラジオ局から配信される放送や楽曲のビットレートには高低さまざまなものがあります。一般的に、ビットレートが高いほど高音質になりますが、通信回線やサーバーの混雑具合によってはストリーミングしている音楽や音声が途切れやすくなります。逆にビットレートが低ければ音質は低下しますが、途切れにくくなります。
- 放送局が混雑している場合や放送されていないときには、“Server Full”または“Connection Down”を表示します。

#### □ 本機のディスプレイ表示を切り替える

インターネットラジオ受信中に **INFO** を押す。  
放送局の情報や信号フォーマットビットレートを表示します。

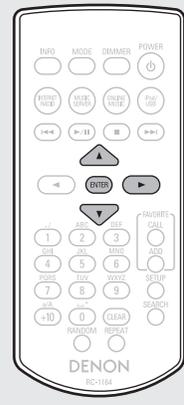


#### □ 最近再生したインターネットラジオ局を選ぶとき

“Recently Played” から、最近再生したインターネットラジオ局を選べます。  
最大 20 局まで“Recently Played”へ自動的に記憶します。

#### 1 インターネットラジオ局のトップメニューで △▽ を押して“Recently Played”を選び ENTER または ▷ を押す。

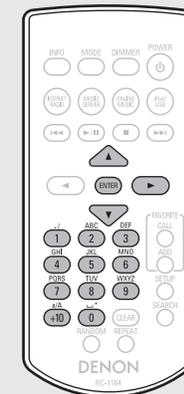
#### 2 △▽ を押して再生したい放送局を選び、ENTER または ▷ を押す。



#### □ キーワードでインターネットラジオ局を検索する

- 1 △▽ を押して“Search by Keyword”を選び、**ENTER** または ▷ を押す。
- 2 △▽▷ または 0~9、+10 を押して文字を入力して、**ENTER** を押す。

- 文字の入力方法については、35 ページをご覧ください。



#### □ インターネットラジオ局をお気に入りリストに登録する

お気に入りの放送局をお気に入りリストに登録できます (P.27 ページ)。

#### □ インターネットラジオ受信時に使用できるボタン

操作ボタン	機能
<b>FAVORITE ADD</b>	お気に入りリストへの登録
<b>FAVORITE CALL</b>	お気に入りリストからの呼び出し
<b>■、▶/  </b> *1	停止
<b>SETUP</b>	メニュー
<b>△▽◁▷</b>	カーソル操作(上/下/左/右)
<b>ENTER</b>	確定
<b>SEARCH</b>	キャラクターサーチ *2

\*1 フロントパネルの ▶/|| のみ使用できます。

\*2 **SEARCH** を押して検索したい文字を入力し、**ENTER** を押すと文字を検索できます。



リストがアルファベット順に並んでいない場合、キャラクターサーチができないことがあります。

## メディアの共有設定をおこなう

パソコンやNASに保存されている音楽ファイルをネットワーク上で共有するための設定をおこないます。

### □パソコンに保存したメディアを共有する

メディアサーバーを使用する場合には、事前に必ずこの設定をおこなってください。

### Windows Media Player 12 (Windows 7) を使用する場合

#### ご注意

次の手順は、コントロールパネルの表示方法を“カテゴリ”にしてからおこなってください。

- 1 パソコン上の“コントロールパネル”から“ネットワークとインターネット”⇒“ホームグループと共有に関するオプションの選択”を選ぶ。
- 2 “ピクチャ、ミュージック、およびビデオを同じホームネットワーク上にあるすべてのデバイスにストリーム配信する”をチェックし、“メディアストリーミングオプションの選択”を選ぶ。
- 3 “DENON DNP-F109”のドロップダウンリストで“許可”を選ぶ。
- 4 “このPCとリモート接続のメディアプログラム”のドロップダウンリストで“許可”を選ぶ。
- 5 “OK”をクリックして終了する。

### Windows Media Player 11 を使用する場合

- 1 パソコンでWindows Media Player 11を起動する。
- 2 “ライブラリ”から“メディアの共有”を選ぶ。
- 3 “メディアを共有する”をチェックして“DENON DNP-F109”を選び、“許可”をクリックする。
- 4 手順3と同様に、メディアコントローラーとして使用したい機器（他のパソコンやモバイル端末）のアイコンを選び、“許可”をクリックする。
- 5 “OK”をクリックして終了する。

### NASに保存したメディアを共有する

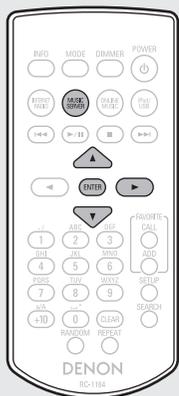
本機およびメディアコントローラーとして使用したい機器（他のパソコンやモバイル端末）がNASにアクセスできるよう、NASの設定を変更してください。詳しくは、お使いのNASに付属の取扱説明書をご覧ください。

## パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する

音楽ファイルおよびプレイリストを再生できます。

### 1 再生の準備をする。

- ① ネットワーク環境を確認してから、本機の電源を入れる (☞23ページ「電源を入れる」)。
- ② 設定が必要な場合は、「ネットワークの設定[Network]」(☞17ページ)をおこなう。
- ③ パソコンの準備をする (☞25ページ「メディアの共有設定をおこなう」、☞42ページ「ミュージックサーバー機能について」)。



### 2 MUSIC SERVER を押して、入力ソースを“Music Server”に切り替える。

- 本体のボタンで入力ソースを選ぶ方法については、「本体で入力ソースを選ぶ」(☞23ページ)をご覧ください。

### 3 △▽ を押して再生したいファイルのあるサーバーを選び、ENTER または ▷ を押す。

### 4 △▽ を押して検索項目またはフォルダを選び、ENTER または ▷ を押す。

### 5 ファイルが表示されるまで、手順 4 を繰り返す。

### 6 △▽ を押してファイルを選び、ENTER または ▷ を押す。

バッファリングが“100%”表示になると、再生がはじまります。



- 音楽ファイルの再生には、必要なシステムとの接続および設定が必要です (☞12 ページ)。
- あらかじめパソコンのサーバーソフトを起動し、ファイルをサーバーコンテンツとして設定してください。詳しくは、サーバーソフトの取扱説明書をご覧ください。
- 曲の表示順は、サーバーの仕様によって異なります。サーバーの仕様によって、曲の表示順がアルファベット順にならない場合は、頭文字での検索が正しく動作しないことがあります。
- Windows Media Player (バージョン 11 以上) などのトランスコードに対応したサーバーをご使用になる場合は、WMA Lossless ファイルを再生できます。

#### ご注意

特にデータ容量の大きい音楽ファイルを再生するときなどに、お使いの無線 LAN の環境によっては、再生音が途切れることがあります。その場合は有線 LAN 接続をおこなってください。

### □くり返し再生する(リピート再生) (☞30 ページ)

### □順不同に再生する(ランダム再生) (☞30 ページ)

## □ディスプレイ表示を切り替える

再生中に INFO を押す。

- ボタンを押すたびに、ディスプレイ表示が切り替わります。



## □ミュージックサーバーの再生に使用できるボタン

操作ボタン	機能
FAVORITE ADD	お気に入りリストへの登録
FAVORITE CALL	お気に入りリストからの呼び出し
◀◀ ▶▶	オートサーチ(頭出し)
▶/	再生 / 一時停止
■	停止
SETUP	メニュー
△▽◀▶	カーソル操作 (△▽◀▶) / オートサーチ(頭出し、△▽)
ENTER	確定
SEARCH	キャラクターサーチ *1
REPEAT	リピート再生 (☞30 ページ)
RANDOM	ランダム再生 (☞30 ページ)*2

\*1 SEARCH を押して検索したい文字を入力し、ENTER を押すと文字を検索できます。

\*2 パソコンに保存しているファイルをランダム再生すると、曲の再生が終わるたびにすべての曲からランダム再生する曲を選びます。

そのため、同じ曲を続けて再生する場合があります。



- リストがアルファベット順に並んでいない場合、キャラクターサーチができないことがあります。
- サーバーによっては、一部機能が制限される場合があります。

## お気に入り機能

ここではお気に入り機能について説明します。

- お気に入り機能とは、好きな放送局やファイルをあらかじめお気に入りリストに登録することにより、いつでもすぐに好きな放送局やファイル呼び出して聴くことができる機能です。
- 登録や呼び出しが可能なコンテンツは、インターネットラジオ、チューナーです。
- お気に入りリストには最大 50 個の登録が可能です。

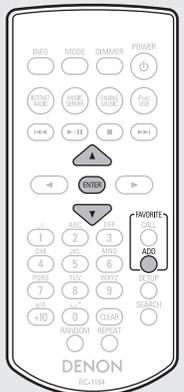
### 放送局またはファイルをお気に入りリストに登録する

- 1 登録したい放送局やファイルを再生中に **FAVORITE ADD** を押す。

“Favorite”メニューを表示します。

- 2  $\Delta$ / $\nabla$  を押して再生中のインターネットラジオ局またはファイルを登録する番号を選び、**ENTER** を押す。

“Add To Favorite”を表示して登録が完了します。



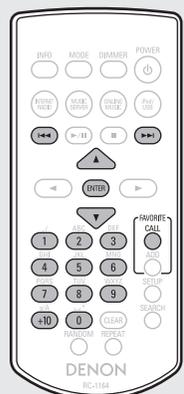
### お気に入りリストに登録した放送局またはファイル呼び出す

- 1 **FAVORITE CALL** を押す。  
お気に入りリストを表示します。

- 2  $\leftarrow$ / $\rightarrow$  または  $\Delta$ / $\nabla$  を押して呼び出したい放送局またはファイルを選び、**ENTER** を押す。

各ソースに移行して、再生をはじめます。

- **0~9, +10** を押すと、お気に入りに登録した曲を番号で呼び出せます。



### 再生中に登録した放送局またはファイルを切り替える

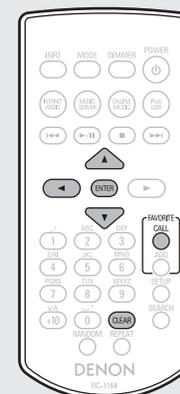
$\leftarrow$ / $\rightarrow$  または  $\Delta$ / $\nabla$  を押す。

### お気に入りリストから放送局またはファイル削除する

- 1 **FAVORITE CALL** を押す。  
お気に入りリストを表示します。

- 2  $\Delta$ / $\nabla$  を押して削除したい放送局またはファイルを選び、**CLEAR** を押す。

- 3 “Delete?”が表示されたら **ENTER** を押す。  
“Deleted”と表示され、削除が完了します。



### 操作を中止する

$\triangleleft$  を押す。

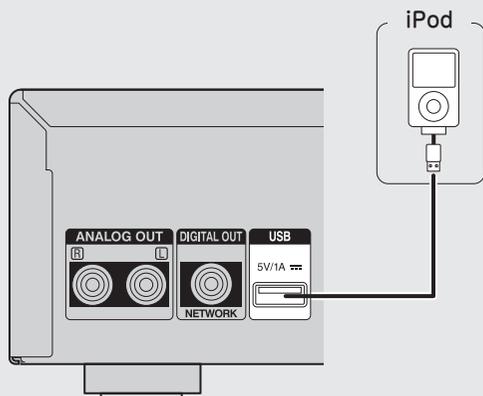
## iPod を再生する

iPod に付属の USB ケーブルを使用して、iPod を本機の USB 端子に接続すると、iPod の音楽を楽しむことができます。本機では、第 5 世代以降に発売された iPod および iPod touch、iPod classic、iPod nano を再生できます。

□ iPod について (P.41 ページ)

### iPod を再生する

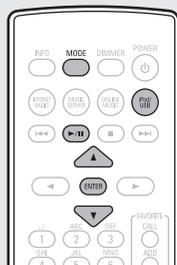
**1** iPod に付属の USB ケーブルを使用して、iPod を本機の USB 端子に接続する。



**2** POWER 〇 を押して、本機の電源を入れる。

**3** iPod/USB を押して、入力ソースを“iPod/USB”に切り替える。

- 本体のボタンで入力ソースを選ぶ方法については、「本体で入力ソースを選ぶ」(P.23 ページ)をご覧ください。



**4** MODE を押して表示モードを選ぶ。

ボタンを押すたびに、表示モードを切り替えます。

- iPod のデータを表示するモードは 2 つあります。

**ブラウズモード** iPod の情報を本機のディスプレイに表示させて操作するモードです。

**リモートモード** iPod に表示される画面を見ながら、直接 iPod 本体を操作するモードです。

- 本機のディスプレイに“Remote iPod”を表示します。

表示モード		ブラウズモード	リモートモード
表示する場所		本機のディスプレイ	iPod のディスプレイ
再生できるファイル	音楽ファイル	✓	✓
	ビデオファイル		✓*
操作できるボタン	本機とリモコン	✓	✓
	iPod		✓

\* 音声のみ再生します。

- お買い上げ時の設定は、リモートモードです。

**5** △▽ を押して項目を選び、ENTER を押して再生したいファイルを選ぶ。

**6** ▶/|| を押す。  
再生をはじめます。

#### ご注意

- 万一 iPod のデータを消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。
- iPod の種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。
- 本機に iPhone を接続するときは、iPhone を本機から 20cm 以上離してください。iPhone を本機に近づけていると、iPhone が電話を受信したときに、本機の音声出力にノイズが入ることがあります。

### □ リモコンのボタンと iPod のボタンの対応関係

リモコンのボタン	iPod のボタン	本機の動作
◀◀ ▶▶	◀◀ ▶▶	オートサーチ(頭出し)
▶/	▶/	再生 / 一時停止
◀◀ ▶▶ (長押し)	◀◀ ▶▶ (長押し)	マニュアルサーチ(早戻し / 早送り)
■	-	停止
MODE	-	ブラウズモードとリモートモードの切り替え
△▽	クリックホイール	カーソル操作(上 / 下)
◀	MENU	メニューの呼び出し / メニューのリターン
ENTER または ▶	セレクト	設定の確定 / 再生
REPEAT	-	リピート再生
RANDOM	-	シャッフル再生

### □ 本機のディスプレイ表示を切り替える

再生中に INFO を押す。

- ボタンを押すたびに、ディスプレイ表示が切り替わります(ブラウズモードのみ)。



アーティスト名 ↔ アルバム名

### □ くり返し再生する(リピート再生)

(P.30 ページ)

(ブラウズモードのみ)

### □ 順不同に再生する(ランダム再生)

(P.30 ページ)

## iPod を取り外す

**1** POWER 電源ボタンを押して、本機の電源をスタンバイ状態にする。

**2** USB 端子から iPod を取り出す。



## iPod の充電

USB 端子に接続すると iPhone/iPod を充電できます。

### □スタンバイ充電

iPod / iPhone の充電中に本機がスタンバイモードに入った場合、iPod チャージスタンバイモードに切り替えて、iPod / iPhone を充電します。iPod チャージスタンバイモードでは、電源表示ランプが赤色に変わります。iPhone / iPod が完全に充電されると、電源表示ランプが消灯し、スタンバイモードに移行します。

## 対応している iPod/iPhone

### • iPod classic



iPod classic  
80GB



iPod classic  
160GB (2007)



iPod classic  
160GB (2009)

### • iPod nano



iPod nano  
3rd generation  
(video)  
4GB 8GB



iPod nano  
4th generation (video)  
8GB 16GB



iPod nano  
5th generation (video camera)  
8GB 16GB



iPod nano  
6th generation  
8GB 16GB

### • iPod touch



iPod touch  
1st generation  
8GB 16GB 32GB



iPod touch  
2nd generation  
8GB 16GB 32GB



iPod touch  
3rd generation  
32GB 64GB



iPod touch  
4th generation  
8GB 32GB 64GB

### • iPhone



iPhone  
4GB 8GB 16GB



iPhone 3G  
8GB 16GB



iPhone 3GS  
8GB 16GB 32GB



iPhone 4  
8GB 16GB 32GB



iPhone 4S  
16GB 32GB 64GB

(2012年7月現在)



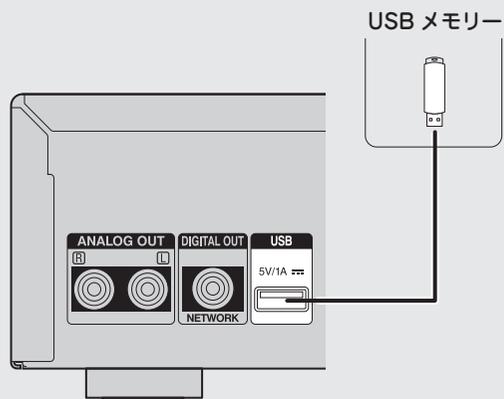
## USB メモリーを再生する

本機で USB メモリーに保存されている音楽ファイルを楽しむことができます。

□ **USB メモリーについて** (P.41 ページ)

### USB メモリーを再生する

#### 1 USB 端子に USB メモリーを接続する。



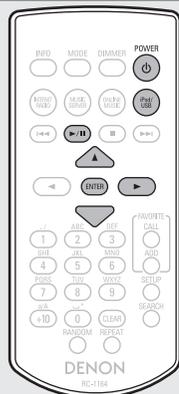
#### 2 POWER 〇 を押して、本機の電源を入れる。

#### 3 iPod/USB を押して、入力ソースを“iPod/USB”に切り替える。

• 本体のボタンで入力ソースを選ぶ方法については、「本体で入力ソースを選ぶ」(P.23 ページ)をご覧ください。

#### 4 △▽ を押して再生したいファイルまたはフォルダを選び、ENTER または ▷ を押す。

#### 5 △▽ を押してファイルを選び、ENTER、▷ または ▶/|| を押す。 再生をはじめます。



- USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ選べます。
- 本機で対応している MP3 ファイルの規格は、「MPEG-1 Audio Layer-3」です。
- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものでお使いになる場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。

#### ご注意

- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。
- USB メモリーを接続するときに、延長ケーブルを使用しないでください。他の機器に電波障害を引き起こす場合があります。
- 本機に USB メモリーを接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。

### USB メモリーを取り外す

#### 1 POWER 〇 を押して、本機の電源をスタンバイ状態にする。

#### 2 USB メモリーの通信表示が点滅していないことを確認してから、USB メモリーを抜く。



#### ご注意

USB メモリーの通信表示が点滅しているときは、USB メモリーを本機から抜かないでください。USB メモリーおよび USB メモリーの記録ファイルが破損することがあります。

### くり返し再生する(リピート再生)

#### REPEAT を押す。

リピート再生をはじめます。

- ボタンを押すたびに、リピートモードが切り替わります。



(1 曲リピート) 1 曲のみをくり返して再生します。

(全曲リピート) 再生中のフォルダ内の曲をくり返して再生します。

(リピートオフ(表示消灯)) 通常の再生に戻ります。

### 順不同に再生する(ランダム再生)

#### RANDOM を押す。

ディスプレイの 表示が点灯し、ランダム再生をはじめます。



#### □ランダム再生を解除する

**RANDOM** を押す。  
ディスプレイの 表示が消灯します。

## □USB メモリー再生時に使用できるボタン

操作ボタン	機能
◀◀ ▶▶	オートサーチ(頭出し)
▶/II	再生 / 一時停止
■	停止
△▽	カーソル操作 / オートサーチ (頭出し、△▽)
ENTER または ▷	設定の確定 / 再生
◀	メニューの呼び出し / メニューのリターン
SEARCH	キャラクターサーチ *1
REPEAT	リピート再生
RANDOM	ランダム再生 *2

- \*1 **SEARCH** を押して検索したい文字を入力し、**ENTER** を押すと文字を検索できます。
- \*2 USB メモリーに保存しているファイルをランダム再生すると、曲の再生が終わるたびにすべての曲からランダム再生する曲を選びます。  
そのため、同じ曲を続けて再生する場合があります。



リストがアルファベット順に並んでいない場合、キャラクターサーチができないことがあります。

## □本機のディスプレイ表示を切り替える

再生中に **INFO** を押す。

- ボタンを押すたびに、ディスプレイ表示が切り替わります。

The diagram illustrates the sequence of information displayed on the screen when the INFO button is pressed repeatedly. It shows a cycle: Artist Name → Album Name → File Type / Bit Rate → Artist Name. An inset image shows the physical buttons on the device, with the INFO button highlighted.

## AirPlay 機能

iTunes のミュージックライブラリを本機で再生できます。

### iPhone、iPod touch の音楽ファイルを本機で再生する

iPhone、iPod touch を iOS 4.2.1 以上にアップデートすると、iPhone、iPod touch の曲を本機へダイレクトにストリーミングできます。

#### 1 iPhone または iPod touch を音楽再生モードにする。

iPhone または iPod touch の画面に  を表示します。

#### 2 AirPlay アイコン をタップする。

あらかじめ、本機の“Network Control”設定(21ページ)を“On”にしてください。

#### ご注意

“Network Control”を“On”に設定している場合は、スタンバイ時の待機電力を多く消費します。

#### 3 再生したいスピーカー(機器)を選ぶ。



#### ご注意

iPhone と iPod touch の画面にある音量調節バーによる音量調節は、本機を DRA-F109 にシステム接続している時のみ有効です。DRA-F109 以外のアンプに接続しているときには iPhone や iPod touch からの音量調節はできません。

### iTunes の音楽を本機で再生する

#### 1 本機と同じネットワークに接続しているパソコンに、iTunes10 以降をインストールする。

#### 2 本機の電源を入れる。 あらかじめ、本機の“Network Control”設定(21ページ)を“On”にしてください。

#### ご注意

“Network Control”を“On”に設定している場合は、スタンバイ時の待機電力を多く消費します。

#### 3 iTunes を起動し、画面右下の AirPlay アイコン をクリックして、本機を選ぶ。



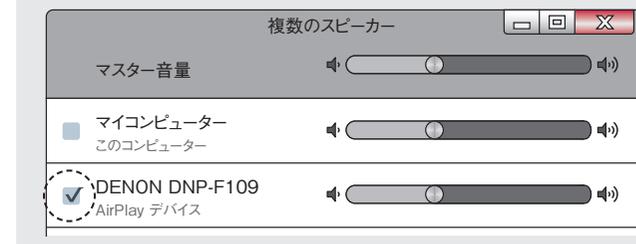
#### 4 iTunes で曲を選んで再生する。 本機で再生をはじめます。

### □複数のスピーカーを選択する(DRA-F109 システム接続時のみ)

複数のスピーカー(機器)で iTunes の曲を再生することができます。

#### 1 AirPlay アイコン をクリックして、“複数のスピーカー”を選ぶ。

#### 2 再生したいスピーカー(機器)をクリックする。

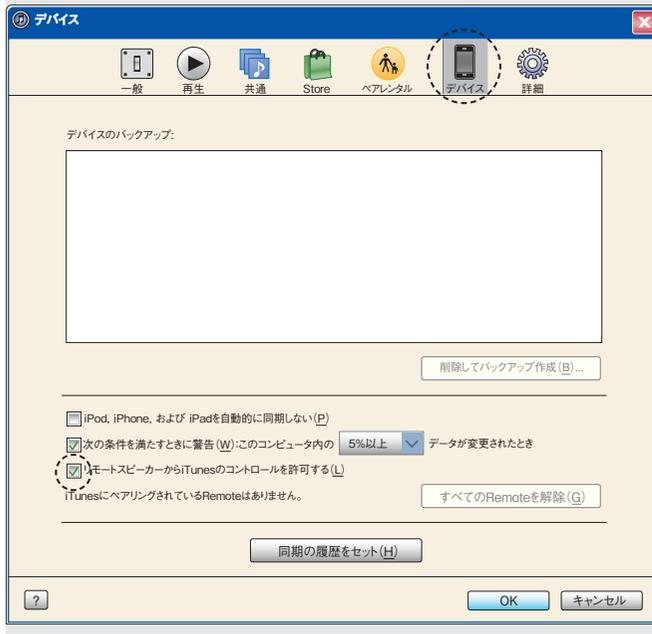


## 本機のリモコンで iTunes の再生操作をおこなう

本機のリモコンで、iTunes の曲の再生や一時停止、頭出し操作をおこなえます。

### 1 iTunes の設定のウィンドウで“デバイス”を選ぶ。

### 2 “リモートスピーカーから iTunes のコントロールを許可する”にチェックを入れる。



- AirPlay の再生を開始すると、本機の入力ソースは自動的に“AirPlay”に切り替わります。
- 本機の ◀ を押すか他の入力ソースに切り替えると、AirPlay の再生が停止します。
- **INFO** を押すと、アルバム名とアーティスト名を確認できます。
- iTunes の使用方法は、iTunes の“ヘルプ”をご覧ください。
- 画面は、OS やソフトのバージョンによって異なる場合があります。
- AirPlay 再生中に本機 USB 端子に iPod を接続すると、AirPlay の再生が停止します。



# Remote Play 機能

ご家庭のネットワークを使って PC や NAS に保存している音楽ファイルや、スマートフォンやポータブルオーディオプレーヤーに保存している音楽ファイルを、本機で再生できます。このとき、操作は PC、スマートフォン、ポータブルオーディオプレーヤーで操作します。



- それぞれの機器がDLNA(Digital Living Network Alliance)の Ver. 1.5 規格に準拠している必要があります。
- スマートフォンやポータブルオーディオの再生にはワイヤレス LAN の環境が必要です。
- スマートフォンによっては、DLNA の音楽再生のためのアプリをインストールする必要がある場合があります。

## □それぞれの機器の役割

Remote play 再生には次の機器を使用します。DLNA 規格上、それぞれの役割によって DMC、DMS、DMR と呼びます。

呼称	機器例	役割
<b>DMC</b> (Digital Media Controller)	• PC • スマートフォン • ポータブルオーディオプレーヤー	Remote play 再生の操作をします。 これらの機器に保存している音楽ファイルを再生することもできます。
<b>DMS</b> (Digital Media Server)	• PC • NAS (Network Attached Storage)	音楽ファイルの保存をします。 DMC でこれらの機器に保存している音楽ファイルを再生操作をします。
<b>DMR</b> (Digital Media Renderer)	• 本機	Remote play で再生した音楽ファイルをスピーカーから出力します。再生操作はできません。

## □再生できるファイルについて

「知っておいてほしいこと」⇒「ミュージックサーバー機能について」(P.42 ページ) をご覧ください。

## それぞれの機器に必要な設定

Remote Play 再生をおこなうために、DMC と DMS の設定が必要です。次の設定をおこなってください。また、設定については各機器の取扱説明書をご覧ください。

### □PC や NAS の設定

PC や NAS が DMS 機器や DMR 機器とデータのやり取りができるように設定をします。  
設定の方法は「メディアの共有設定をおこなう」(P.25 ページ) をご覧ください。

### □スマートフォンの設定

スマートフォンから DMS や本機 (DMR) を操作するために、スマートフォンに DLNA の音楽再生のためのアプリをインストールする必要があります。これらの適応アプリはスマートフォンによって異なります。



一部のスマートフォンでは初めから DLNA 音楽再生に対応している機種もあります。スマートフォンの取扱説明書でご確認ください。

### □ポータブルオーディオプレーヤーの設定

ポータブルオーディオプレーヤーの音楽ファイルを本機 (DMR) で再生するための設定をおこなってください。設定のしかたは各ポータブルオーディオプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

### □本機の設定

DLNA ネットワークに接続してください。それ以外の設定の必要はありません。  
ネットワークの接続については付属の簡単セットアップガイドや、「ホームネットワーク (LAN) に接続する」(P.12 ページ)、「ネットワークの設定 [Network]」(P.17 ページ) をご覧ください。

## □Remote Play の操作

操作の方法はそれぞれの機器によって異なりますが、Remote Play のための準備の手順は同じです。ここでは準備する手順を説明します。

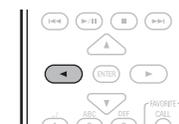
- 1 本機の電源をオンにする。**
  - 本機がネットワークに接続できることを確認してください。
- 2 DMC の音楽ファイル再生画面を表示する。**
  - PC の場合は Windows Media Player12 などを開く。
  - スマートフォンの場合は音楽ファイル再生モードに切り替える。
- 3 再生画面の再生機器を設定する項目で、本機のフレンドリーネームを選ぶ。**
  - 本機のお買い上げ時のフレンドリーネームは「DENON DNP-F109」です。
- 4 DMC で音楽ファイルの再生をはじめめる。**
  - 本機のファンクションが自動的にミュージックサーバーに切り替わり、ディスプレイに「Remote Play マーク」(P.10) を表示して Remote Play をはじめます。

### ご注意

Remote Play 中に本機で再生操作はできません。DMC 機器で操作してください。

## □Remote Play を終了するには

- ◀を押す。
- Remote Play モードを解除します。



## その他の機能

### 文字入力について

本機は“Friendly Name”や検索の画面表示名をお好みに合わせて変更できます。

文字の入力には、次の2通りの方法があります。

入力方式	操作の概要
数字ボタンで入力する	<ul style="list-style-type: none"><li>リモコンで操作します。</li><li>1つのボタンに複数の文字が割り当ててあり、ボタンを押すたびに文字が切り替わります。</li></ul>
カーソルボタンで入力する	<ul style="list-style-type: none"><li>リモコンまたは本体で操作します。</li><li>△▽◀▶とENTERで文字を入力します。</li></ul>

#### □入力画面の表示

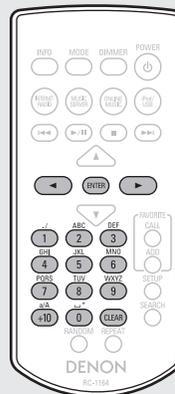
[Friendly name の入力]



### 数字ボタンで入力する

**1** 文字の入力をおこなう画面を表示する。

**2** ◀▶を押して変更したい文字にカーソルを合わせ、入力したい文字が表示されるまで、0~9を押す。



•入力できる文字の種類は、次のとおりです。

- |       |                |        |   |
|-------|----------------|--------|---|
| ① . / | 1. @ - _ / : ~ | ⑥ MNO  | mnoMNO6   |
| ② ABC | abcABC2        | ⑦ PQRS | pqrSPQRS7   |
| ③ DEF | defDEF3        | ⑧ TUV  | tuvTUV8   |
| ④ GHI | ghiGHI4        | ⑨ WXYZ | wxyzWXYZ9   |
| ⑤ JKL | klIJKL5        | ⑩ [ ]  | 0 (スペース) ! " # \$ % & ' ( ) * + , ; < = > ? [ \ ] ^ ` {   } |

- 文字を入力中に+10を押すと、大文字と小文字を切り替えられます。
- 文字を削除する場合はCLEARを押してください。
- 同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは、文字を入力したあとに▶を押してカーソルを右に移動させ、次の文字を入力してください。
- 別のボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは、続けて別のボタンを押すと、自動的にカーソルが移動し、文字を確定します。

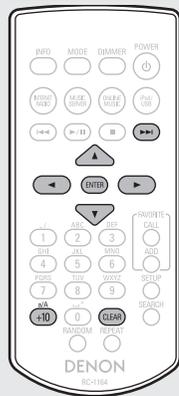
**3** 手順2をくり返して名前を変更し、ENTERを押して入力した文字を確定する。

例：文字を“POPS”から“ROCK”に変更する場合

- ① “P”にカーソルを合わせる。 ▶ POPS
- ② (7 PQRS) を7回押す。 ▶ ROPS  
“P”が“R”に変わります。
- ③ ▶を2回押す。  
自動的に“R”を確定し、“P”にカーソルを合わせる。 ▶ ROPS
- ④ (2 ABC) を6回押す。 ▶ ROC S  
“P”が“C”に変わります。
- ⑤ ▶を押す。  
“C”を確定し、カーソルを“S”に合わせる。 ▶ ROCS
- ⑥ (5 JKL) を5回押す。 ▶ ROCK  
“S”が“K”に変わります。
- ⑦ ENTERを押して、入力を確定する。

## カーソルボタンで入力する

- 1 文字の入力をおこなう画面を表示する。
- 2 ◀ ▶ を押して、変更したい文字にカーソルを合わせる。
- 3 △ ▽ を押して文字を変更する



•入力できる文字の種類は、次のとおりです。

【英小文字】	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
【英大文字】	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
【記号】	! " # \$ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [ \ ] ^ _ ` {   } ~
【数字】	0123456789 (空白)

- 文字を入力中に **+10** を押すと、大文字と小文字を切り替えられます。
- 文字を削除する場合は **CLEAR** を押してください。
- スペースを入れる場合は、**▶▶|** を押してください。

- 4 手順 2、3 をくり返して名前を変更し、**ENTER** を押して入力した文字を確定する。

## オートパワーオン機能

**INTERNET RADIO、MUSIC SERVER、iPod/USB、▶/|| または FAVORITE CALL** を押すと、各機器の電源が入り、ソースが自動的に切り替わります。

- ▶/|| を押した場合は、最後に選択していたソースを再生します。

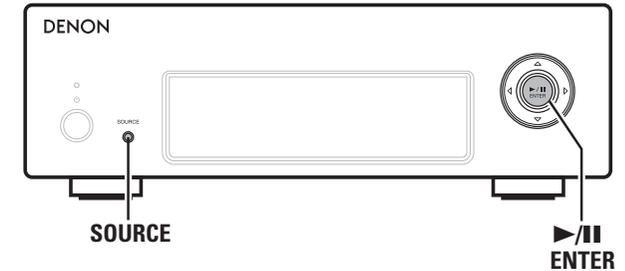


## ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の各種設定を記憶します。再び電源を入ると、スタンバイにする直前の設定になります。

## マイコンの初期化

表示が正しくない場合や操作ができない場合などにおこないます。マイコンを初期化すると、各設定内容がすべてお買い上げ時の設定になります。



- 1 電源コードをコンセントから抜く。
- 2 **SOURCE** と **▶/|| ENTER** を同時に押しながら、電源プラグをコンセントに差し込む。
- 3 電源表示が緑色に点灯したら、ボタンから指を離す。  
ディスプレイに“Initialized”を表示します。



手順 3 で“Initialized”を表示しない場合は、もう一度手順 1 からやり直してください。

## 情報編

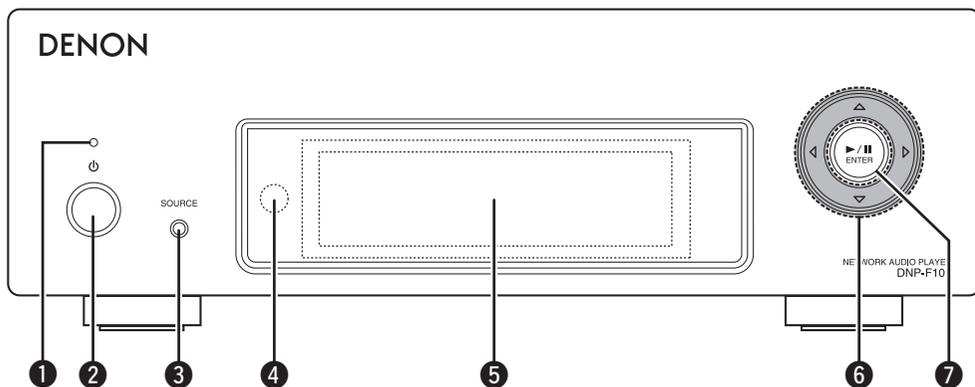
ここでは本機に関するさまざまな情報を記載しています。  
必要に応じてご覧ください。

- 各部の名前  38 ページ
- その他の情報  41 ページ
- 用語の解説  43 ページ
- 故障かな?と思ったら  44 ページ
- 保証と修理について  44 ページ
- 主な仕様  47 ページ
- 索引  48 ページ

# 各部の名前

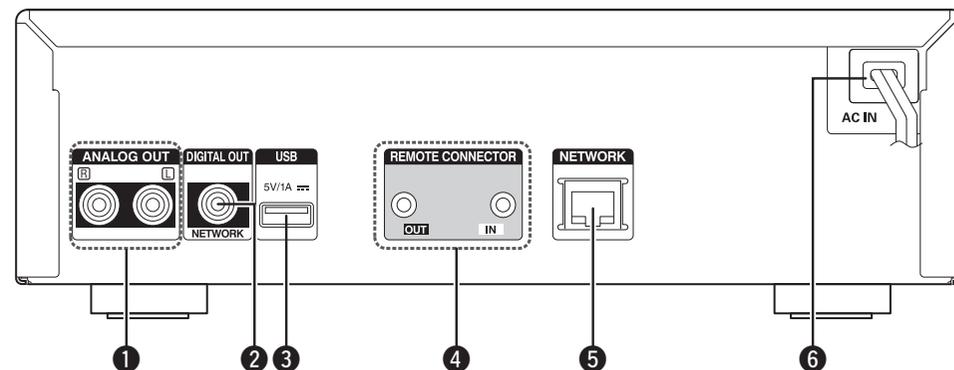
各部のはたらきなど詳しい説明については、( )内のページをご覧ください。

## フロントパネル



- ① 電源表示 ..... (23)  
本機の状態により、次のように変わります。
  - 電源オン時：緑色
  - 電源スタンバイ時：消灯
  - ネットワークコントロール“On”時：赤色
  - iPod チャージスタンバイ時：赤色
- ② 電源操作ボタン (⏻) ..... (23)  
本機の電源をオン / スタンバイに切り替えます。
- ③ 入力ソース選択ボタン (SOURCE) ..... (23)  
入力ソースを選択します。
- ④ リモコン受光部 ..... (7)
- ⑤ ディスプレイ  
再生状態や設定などを表示します。
- ⑥ カーソルボタン (△▽◀▶) ..... (24)
- ⑦ プレイ/ポーズボタン (▶/||) ..... (24)  
エンターボタン (ENTER) ..... (24)

## リアパネル

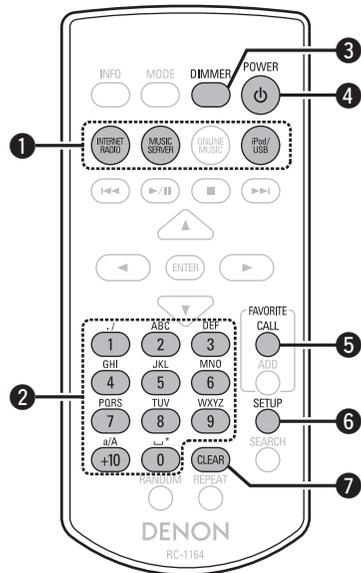


- ① アナログ音声出力端子 (ANALOG OUT) ..... (10)  
別売りのアンプと接続します。
- ② デジタル音声出力端子 (DIGITAL OUT) ..... (10)  
別売りの AV レシーバーや D/A コンバーターなどのデジタル機器を接続します。
- ③ USB端子 ..... (28, 30)  
USB メモリーまたは iPod を接続します。
- ④ リモート端子 (REMOTE CONNECTOR) ..... (11)
- ⑤ イーサネット端子 (NETWORK) ..... (12)
- ⑥ 電源コード (AC IN) ..... (13)

# リモコン

この章では、入力ソースごとに使用するボタンについて説明します。

## すべての入力ソースのときに操作できるボタン



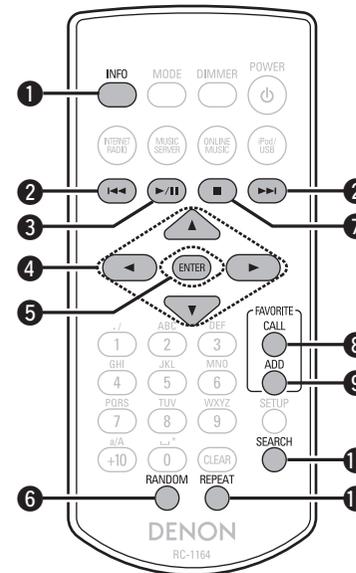
- ① 入力ソース選択ボタン ..... (23)
- ② 数字ボタン(0~9、+10) ..... (27, 35)
- ③ ディマーボタン(DIMMER) ..... (23)
- ④ 電源操作ボタン(POWER) ..... (23)
- ⑤ お気に入り呼び出しボタン ..... (27)
- ⑥ セットアップボタン (SETUP) ..... (15, 17)
- ⑦ クリアボタン(CLEAR) ..... (35, 36)

### ご注意

本機では、**ONLINE MUSIC** ボタンは使用できません。

## 入力ソースが“Internet Radio”または“Music Server”のときに操作できるボタン

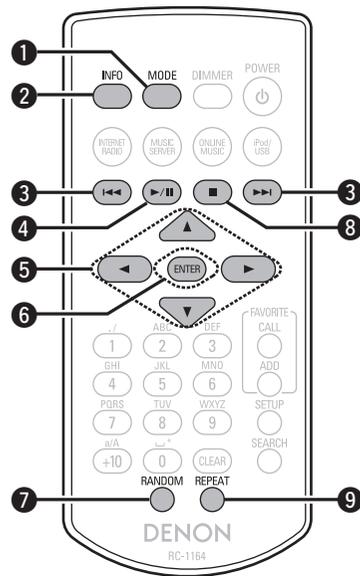
「すべての入力ソースのときに操作できるボタン」も使用できます。



- ① インフォメーションボタン (INFO) ..... (24, 26) (“Internet Radio”または“Music Server”のみ)
- ② スキップボタン(I<<<, >>>I) ..... (26) (“Music Server”のみ)
- ③ プレイ/ポーズボタン(▶/||) ..... (26) (“Music Server”のみ)
- ④ カーソルボタン(△▽◀▶) ..... (24, 26)
- ⑤ エンターボタン(ENTER) ..... (24, 26)
- ⑥ ランダムボタン(RANDOM) ..... (26) (“Music Server”のみ)
- ⑦ ストップボタン(■) ..... (24, 26)
- ⑧ お気に入り呼び出しボタン ..... (24, 26, 27)
- ⑨ お気に入り登録ボタン ..... (24, 26, 27) (“Internet Radio”または“Music Server”のみ)
- ⑩ サーチボタン(SEARCH) ..... (24, 26) (“Internet Radio”または“Music Server”のみ)
- ⑪ リピートボタン(REPEAT) ..... (26) (“Music Server”のみ)

## 入カースが“iPod/USB”のときに操作できるボタン

「すべての入力ソースのときに操作できるボタン」も使用できます。



- ① モードボタン(MODE) ..... (28)  
(“iPod”のみ)
- ② インフォメーションボタン  
(INFO) ..... (28, 31)
- ③ スキップボタン  
(I◀◀, ▶▶I) ..... (28, 31)
- ④ プレイ/ポーズボタン  
(▶/||) ..... (28, 31)
- ⑤ カーソルボタン(△▽◀▷) ..... (28, 30)
- ⑥ エンターボタン(ENTER) ..... (28, 30)
- ⑦ ランダムボタン  
(RANDOM) ..... (28, 30)
- ⑧ ストップボタン(■) ..... (28, 30)
- ⑨ リピートボタン(REPEAT) ..... (28, 30)

## iPod について



“Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, or iPhone, may affect wireless performance.

iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

• iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle および iPod touch は、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

## USB メモリーについて

### 知っておいてほしいこと

本機の USB 端子に USB メモリーを接続すると、USB メモリーに保存された音楽ファイルを再生できます。また、本機の USB 端子に iPod を直接接続しても、iPod に保存されたファイルを再生できます。詳しくは、「iPod を再生する」(P.28 ページ)をご覧ください。

- 本機は、マストレージクラスおよび MTP (Media Transfer Protocol) に対応している USB メモリーのみ再生できます。
- USB メモリーのフォーマットは、FAT16 または FAT32 に対応しています。



ファイル数が 1000 を超える場合、アクセス速度が遅くなる場合があります。

### 【再生できるフォーマット】

	USB メモリー*1
WMA (Windows Media Audio)	✓*2
MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)	✓
WAV	✓
MPEG-4 AAC	✓*3
FLAC (Free Lossless Audio Codec)	✓

\*1 USB メモリーについて

- MP3 ID3 タグ(バージョン 2)に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。

• アルバムアートの画素サイズ(ピクセル)が 500 × 500 (WMA/MP3/WAV/FLAC) または 349 × 349 (MPEG-4 AAC) を超えている場合は、正常に再生できないことがあります。

\*2 MTP に対応した一部のポータブルプレーヤーは、著作権保護のあるファイルを再生できます。

\*3 著作権保護のないファイルのみ再生できます。インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

### 【再生できるフォーマット】

	サンプリング 周波数	ビットレート	ビット数	拡張子
WMA (Windows Media Audio)	32/44.1/ 48 kHz	48~192 kbps	-	.wma
MP3 (MPEG- 1 Audio Layer-3)	32/44.1/ 48 kHz	32~320 kbps	-	.mp3
WAV	32/44.1/48/ 88.2/96/ 176.4/192kHz	-	16/24 ビット	.wav
MPEG-4 AAC	32/44.1/ 48 kHz	16~320 kbps	-	.aac/ .m4a/ .mp4
FLAC (Free Lossless Audio Codec)	32/44.1/48/ 88.2/96/ 176.4/192kHz	-	16/24 ビット	.flac

# ネットワークオーディオについて

## 知っておいてほしいこと

### □インターネットラジオ機能について

- インターネットラジオとは、インターネット上に配信されているラジオ放送です。世界中のインターネットラジオ放送を聴けます。
- 本機には、次のインターネットラジオ機能があります。
- ジャンル別、地域別によります。
- MP3 や WMA (Windows Media Audio) フォーマットのインターネットラジオ放送を聴けます。
- パソコン上の Web ブラウザから当社のインターネットラジオ用の URL にアクセスすると、お気に入りのラジオを登録できます。
- お客様の機器ごとに管理しますので、MAC アドレスや E-mail アドレスの登録が必要になります。  
専用 URL : <http://www.radiodenon.com>
- ラジオ局データベースサービスは、予告なく停止する場合があります。
- 本機のインターネットラジオ局リストは、ラジオ局データベースサービス(vTuner)を使用しています。このデータベースサービスは、本機用に編集および作成されたリストです。

### □ミュージックサーバー機能について

ネットワークを経由して、本機に接続されたパソコン(ミュージックサーバー)に保存された音楽ファイルまたはプレイリスト(m3u, wpl)を再生できます。

本機のネットワークオーディオ再生機能には、次の技術を使用してサーバーに接続できます。

- Windows Media Player Network Sharing Service
- Windows Media DRM10

#### 【各機能で再生できるファイルの種類】

	インターネットラジオ	ミュージックサーバー*1
<b>WMA</b> (Windows Media Audio)	✓	✓
<b>MP3</b> (MPEG-1 Audio Layer-3)	✓	✓
<b>WAV</b>		✓
<b>MPEG-4 AAC</b>		✓*2
<b>FLAC</b> (Free Lossless Audio Codec)		✓

ネットワーク経由での音楽ファイルの再生には、そのフォーマットの配信に対応したサーバーまたはサーバーソフトウェアが必要です。

#### \*1 ミュージックサーバーについて

- MP3 ID3 タグ(バージョン 2)に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- アルバムアートの画素サイズ(ピクセル)が 500 × 500(WMA/MP3/WAV/FLAC) または 349 × 349 (MPEG-4 AAC) を超えている場合は、正常に再生できないことがあります。

#### \*2 著作権保護のないファイルのみ再生できます。

インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

#### 【再生できるファイルの仕様】

	サンプリング周波数	ビットレート	ビット数	拡張子
<b>WMA</b> (Windows Media Audio)	32/44.1/48 kHz	48~192 kbps	-	.wma
<b>MP3</b> (MPEG-1 Audio Layer-3)	32/44.1/48 kHz	32~320 kbps	-	.mp3
<b>WAV</b>	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz	-	16/24 ビット	.wav
<b>MPEG-4 AAC</b>	32/44.1/48 kHz	16~320 kbps	-	.aac/ .m4a/ .mp4
<b>FLAC</b> (Free Lossless Audio Codec)	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz	-	16/24 ビット	.flac

#### ご注意

特にデータ容量の大きい音楽ファイルを再生するときなどに、お使いの無線 LAN の環境によっては、再生音が途切れることがあります。その場合は有線 LAN 接続をおこなってください。

## A

### AES (Advanced Encryption Standard)

現在用いられている DES、3DES に代わる次世代の標準暗号方式で、強固な暗号方式として無線 LAN への幅広い普及が見込まれています。暗号化アルゴリズムには、ベルギーの暗号開発者が開発した「Rijndael(ラインダール)」が採用され、データを固定のブロック長で区切ってそれぞれ暗号化をおこないます。データ長は 128、192、256 ビット、鍵の長さは 128、192、256 ビットがサポートされていて暗号強度は非常に高く設定されています。

### AirPlay

iTunes または iPhone/iPod touch に収録されているコンテンツを、ネットワーク経由で対応する機器に転送(再生)する機能です。

## D

### DLNA

DLNA および DLNA CERTIFIED は デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス Digital Living Network Alliance の商標 / サービスマークです。コンテンツには DLNA CERTIFIED® 製品と適合しないものがある可能性があります。

## F

### FLAC

可逆圧縮方式のフリーの音声ファイルフォーマットです。可逆圧縮のため、原音からの音質の劣化がありません。

FLAC のライセンスについては、次のとおりです。

Copyright (C) 2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007,2008,2009 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## I

### IEEE 802.11b

IEEE(米国電気電子学会)で LAN 技術の標準を策定している 802 委員会が定めた、無線 LAN の規格の 1 つです。無線免許無しで自由に使える 2.4GHz 帯の電波(ISM バンド)を使い、最大 11Mbps の速度で通信できます。

- 表示の数値は、無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータの転送速度を示すものではありません。

### IEEE 802.11g

IEEE(米国電気電子学会)で LAN 技術の標準を策定している 802 委員会が定めた、無線 LAN の規格の 1 つです。IEEE 802.11b と互換性を持ち、同じ 2.4GHz 帯を使いながら、最大で 54Mbps の通信がおこなえます。

- 表示の数値は、無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータの転送速度を示すものではありません。

### iTunes

アップル社が提供しているマルチメディアプレーヤーの名称です。

音楽をはじめとしてビデオなどのコンテンツを管理・再生することができます。AAC をはじめとして WAV や MP3 など主要なファイル形式に対応しています。

## M

### MP3 (MPEG Audio Layer-3)

音声データ圧縮方式の 1 つで、国際的な標準規格です。

映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。

音楽 CD レベルの音質を保ったまま、約 1/11 のデータ容量に圧縮しています。

### MPEG (Moving Picture Experts Group)、MPEG-2、MPEG-4

デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です。ビデオの規格には、「MPEG-1 Video」、「MPEG-2 Video」、「MPEG-4 Visual」、「MPEG-4 AVC」などがあります。音声の規格には、「MPEG-1 Audio」、「MPEG-2 Audio」、「MPEG-4 AAC」などがあります。

## T

### TKIP(Temporal Key Integrity Protocol)

WPA で使用される、ネットワークキーの 1 つです。暗号化アルゴリズムは WEP と同じ RC4 ですが、1 パケットごとに暗号化に使用するネットワークキーを変更することで、セキュリティレベルが高くなっています。

## V

### vTuner

インターネットラジオの無料オンラインコンテンツサービスです。本サービスに関するお問い合わせは、下記 vTuner のサイトまでお願い致します。

vTuner ホームページ:

<http://www.radiodemon.com>

本製品は、Nothing Else Matters Software and BridgeCo の知的財産権により保護されています。当該技術の本製品以外での使用または配布は、Nothing Else Matters Software and BridgeCo の許諾がない限り禁止されています。

## W

### WEP キー(ネットワークキー)

データ通信をおこなう際にデータを暗号化するために使用する鍵情報です。本機はデータの暗号化 / 復号化ともに同一の WEP キー(ネットワークキー)を用いるため、通信する相手と同一の WEP キーを設定する必要があります。

### Wi-Fi®

無線 LAN の互換性接続を保証する団体「Wi-Fi Alliance」の相互接続性テストを合格していることを示します。

### Windows Media DRM

マイクロソフト社が開発した著作権保護技術です。コンテンツプロバイダは、自らのコンテンツ(“セキュアコンテンツ”)の完全性を保護するために、本デバイス(“WM-DRM”)に内蔵された Windows Media 用デジタル権管理技術を使用し、当該コンテンツに対する自らの知的財産権(著作権を含む)が悪用されないようにしています。

本デバイスは、セキュアコンテンツを再生するため、WM-DRM ソフトウェア(“WM-DRM ソフトウェア”)を使用しています。本デバイス内の WM-DRM ソフトウェアのセキュリティがあらゆる場合、セキュアコンテンツの所有者(“セキュアコンテンツオーナー”)は、マイクロソフト社が、セキュアコンテンツをコピー・表示・再生する新たなライセンスを得る WM-DRM ソフトウェアの権利を取り消すよう要請することができます。この取り消しは、保護されていないコンテンツを再生する WM-DRM ソフトウェアの能力には影響がありません。インターネットまたはパソコンからセキュアコンテンツのライセンスをダウンロードするときはいつも、取り消された WM-DRM ソフトウェアのリストがデバイスに送られます。マイクロソフト社は、セキュアコンテンツオーナーに代わって、当該ライセンスとともに、取り消された WM-DRM ソフトウェアのリストをデバイスにダウンロードできます。

### Windows Media Player Ver. 11

マイクロソフト社が無料で提供しているメディアプレーヤーです。

Windows Media Player ver.11 で作成されたプレイリストや WMA、DRM WMA、MP3、WAV ファイルなどが再生可能です。

## WMA

米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

WMA データは、Windows Media® Player Ver.7、7.1、Windows Media® Player for Windows® XP、または Windows Media® Player 9 Series を使用してエンコード(符号化)できます。

WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

### WPA (Wi-Fi Protected Access)

Wi-Fi Alliance が策定したセキュリティ規格です。従来の SSID(ネットワーク名)や WEP キー(ネットワークキー)に加えて、ユーザ認証機能や暗号化プロトコルを採用して、セキュリティを強化しています。

### WPA2 (Wi-Fi Protected Access 2)

Wi-Fi Alliance が策定した WPA の新バージョンです。WPA と比べ、より強力な AES 暗号に対応しています。

### WPA-PSK/WPA2-PSK (Pre-shared Key)

あらかじめ設定した文字列が無線 LAN アクセスポイントとクライアントで一致した場合、相互認証をおこなう簡易認証の方式です。

### WPS (Wi-Fi Protected Setup)

無線 LAN 機器の接続とセキュリティ設定を簡単に実行するために Wi-Fi アライアンスが策定した規格です。

プッシュボタン方式と PIN(Personal identification number)コード方式の2種類があります。

## さ行

### サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。

1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

## な行

### ネットワーク名

#### (SSID : Security Set Identifier)

無線 LAN のネットワークを構成するとき、混信やデータの盗難などを防ぐために、グループ分けをします。このグループ分けを「SSID(ネットワーク名)」でおこないます。さらにセキュリティ強化のために、WEP キーを設定し、「SSID」と WEP キーが一致しないと通信できないようになっています。一時的な簡易ネットワークを構成する場合に適しています。

## は行

### ビットレート(Bit rate)

ディスクに記録された映像 / 音声データを 1 秒あたりに何ビットのデータに処理したかを表します。この数値が大きいくほど音質は向上しますが、ファイルサイズは大きくなります。

# 故障かな?と思ったら

## □ 各接続は正しいですか

## □ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

## □ その他の機器は正しく動作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。

なお、この表の各項目にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

もし、お買い上げの販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

## 【共通】

症状	原因	対策	関連ページ
本機が正常に動作しない。	• 外部からのノイズや妨害によって本機が誤動作している。	• マイコンを初期化してください。	36
電源を入れてもディスプレイが点灯せず、音が出ない。	• 電源コードの差し込みが不完全である。	• 本機のリアパネルおよびコンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	13
ディスプレイは点灯するが、音が出ない。	• ソースと合っていない。	• 適切なソースに切り替えてください。	23
表示が暗い。	• ディマー機能がはたらいている。	• <b>DIMMER</b> ボタンでディマー機能を解除してください。	23
突然電源が切れ、電源表示が赤色で点滅している。(0.25 秒間隔で点滅)	• 本機が故障している。	• 電源を切り、当社の修理相談窓口までご連絡ください。	-
ディスプレイに "No Network Connection" が表示される。	• ネットワークの設定が正しくおこなわれていない。	• ネットワーク接続環境を確認してください。 • "Quick Setup" をおこなってください。	23 14

【インターネットラジオ / ミュージックサーバー / iPod / USB メモリー】

症状	原因	対策	関連ページ
USB メモリー接続時、ディスプレイに“iPod/USB”を表示しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続不良などで、本機が USB メモリーを認識できない。</li> <li>マストレージクラスまたは MTP 以外の USB メモリーを接続している。</li> <li>本機が認識できないデバイスを接続している。</li> <li>USB ハブ経由で接続している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続を確認してください。</li> </ul>	30
		<ul style="list-style-type: none"> <li>本機は、マストレージクラスまたは MTP 対応の USB メモリーに対応しています。それ以外の USB メモリーは認識できません。</li> <li>故障ではありません。すべての USB メモリーに対して、動作や電源の供給を保証するものではありません。</li> <li>USB ハブを経由した接続はできません。また、ハブ機能を内蔵した USB メモリーも再生できません。</li> </ul>	-
			-
			-
iPod が再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>入力ソースが“iPod/USB”以外になっている。</li> <li>ケーブルを正しく接続していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入力ソースを“iPod/USB”に切り替えてください。</li> <li>接続をやり直してください。</li> </ul>	23
			28
USB メモリー内のファイルが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>USB メモリーのフォーマットが、FAT16 または FAT32 以外のフォーマットになっている。</li> <li>複数のパーティションに分かれている。</li> <li>ファイルが対応しているフォーマット以外で記録している。</li> <li>著作権保護のかかったファイルを再生しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。詳しくは、USB メモリーの取扱説明書をご覧ください。</li> <li>複数のパーティションに別れている場合は、第 1 パーティション以外は再生できません。</li> <li>対応しているフォーマットで記録してください。</li> <li>本機では著作権保護のかかったファイルを再生することができません。</li> </ul>	-
			-
			41
			41
インターネットラジオが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>イーサネットケーブルが正しく接続されていないか、ネットワークが切断される。</li> <li>対応していないフォーマットで放送されている。</li> <li>パソコンまたはルータのファイアウォールがはたらいている。</li> <li>ラジオステーションが放送を停止している。</li> <li>IP アドレスが違っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続状態を確認してください。</li> </ul>	12
		<ul style="list-style-type: none"> <li>本機で再生できるインターネットラジオのフォーマットは MP3 と WMA のみです。</li> </ul>	42
		<ul style="list-style-type: none"> <li>接続しているパソコンまたはルータのファイアウォールの設定を確認してください。</li> </ul>	-
		<ul style="list-style-type: none"> <li>放送中のラジオステーションを選んでください。</li> </ul>	24
		<ul style="list-style-type: none"> <li>本機の IP アドレスを確認してください。</li> </ul>	14

症状	原因	対策	関連ページ
パソコンに保存してある音楽ファイルが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されている。</li> <li>著作権保護のかかったファイルを再生しようとしている。</li> <li>本機とパソコンが USB ケーブルで接続されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応しているフォーマットで記録してください。</li> <li>本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。</li> <li>本機の USB 端子は、パソコンと接続することはできません。</li> </ul>	42
			42
			-
サーバーが見つからないか、サーバーに接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコンまたはルータのファイアウォールがはたらいている。</li> <li>パソコンの電源が入っていない。</li> <li>サーバーが起動していない。</li> <li>本機の IP アドレスが正しくない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続しているパソコンまたはルータのファイアウォールの設定を確認してください。</li> <li>電源を入れてください。</li> <li>サーバーを起動してください。</li> <li>本機の IP アドレスを確認してください。</li> </ul>	-
			-
			-
			14
プリセットまたはお気に入りに登録したラジオステーションに接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラジオステーションが放送を休止している。</li> <li>ラジオステーションがサービスを停止している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>しばらく時間をおいてやり直してください。</li> <li>放送中のラジオステーションを選んでください。</li> </ul>	-
			-
ディスプレイに“Server Full”または“Connection Down”が表示され、接続できないラジオステーションがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>放送局が混雑しているか、現在放送を休止している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>しばらく時間をおいてやり直してください。</li> </ul>	-
			-
再生中に、音が途切れることがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークの通信速度が遅いか、通信回線またはラジオステーションが混雑している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これは故障ではありません。ビットレートの高い放送データを再生している場合や、通信の状況によっては、音が途切れることがあります。</li> </ul>	-
音質が良くない。または再生中にノイズが入る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生しているファイルのビットレートが低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これは故障ではありません。</li> </ul>	-

## 【無線 LAN】

症状	原因	対策	関連ページ
ネットワークに接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SSID およびネットワークキー (WEP など) の設定が正しくない。</li> <li>• 電波状態が悪いため、電波が届かない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ネットワークの設定と、本機の設定内容を合わせてください。</li> </ul>	18, 20
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 無線 LAN のアクセスポイントからの距離を短くしたり、障害物をなくしたりして、見通しを良くしてから接続し直してください。また、電子レンジや他のネットワークのアクセスポイントから離して設置してください。</li> </ul>	-
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 設定した端子と接続している端子が合っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アクセスポイントのチャンネル設定を、他のネットワークで使用しているチャンネルから離して設定してください。または、ネットワークケーブルを使用して接続してください。</li> </ul>	-
再生が途切れる。または再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 設定した端子と接続している端子が合っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アクセスポイントのチャンネル設定を、他のネットワークで使用しているチャンネルから離して設定してください。または、ネットワークケーブルを使用して接続してください。</li> </ul>	-
WPS 接続ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ルーターの暗号化タイプが、“WEP” または “TKIP” に設定されています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 暗号化タイプを “なし”、“WPA-PSK (AES)” または “WPA2-PSK (AES)” に設定してください。</li> </ul>	20

## 【AirPlay】

症状	原因	対策	関連ページ
iTunes または iPhone/iPod touch 上に AirPlay のアイコン  が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本機とパソコンまたは iPhone/iPod touch が同一のネットワーク (LAN) に接続されていない。</li> <li>• iTunes または iPhone/iPod touch が、AirPlay 対応のファームウェアではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• パソコンまたは iPhone/iPod touch を本機と同一の LAN に接続してください。</li> <li>• 最新のファームウェアにアップデートしてください。</li> </ul>	12 15
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• iTunes または iPhone/iPod touch を起動したあとに表示される画面で、本機を選択していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• iTunes または iPhone/iPod touch を起動し、表示された画面で AirPlay アイコン  をクリックして、本機を選択してください。</li> </ul>	32

## 【リモコン】

症状	原因	対策	関連ページ
リモコンを操作しても、正常に動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電池が消耗している。</li> <li>• 本体から離れすぎているか、角度が良くない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新しい電池と交換してください。</li> <li>• リモコンは、本機から約 7 メートルおよび 30° 以内の範囲内で操作してください。</li> </ul>	7 7
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本機とリモコンの間に障害物がある。</li> <li>• 電池の ⊕ と ⊖ が正しくセットされていない。</li> <li>• 本機のリモコン受光部に強い光 (直射日光、インバーター式蛍光灯の光など) があたっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 障害物を取り除いてください。</li> <li>• 正しい極性でセットしてください。</li> <li>• 受光部に強い光があたらない場所に設置してください。</li> </ul>	- 7 7

## 保証と修理について

### □保証書について

この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

### 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

#### ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

### 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。有料修理の料金については、「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

### □修理を依頼されるとき

#### 修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただかずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

#### 修理を依頼されるとき

- 添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 修理を依頼されるための、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

### □依頼の際に

#### 連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名 …… 取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号 … 保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

### □補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

### □お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

## 主な仕様

### □デジタルオーディオ特性

- アナログ出力  
チャンネル  
再生周波数範囲  
再生周波数特性  
2チャンネル  
2Hz～96kHz  
2Hz～50kHz  
(サンプリング周波数：192kHz)  
2Hz～20kHz  
(サンプリング周波数：44.1kHz)  
110dB(可聴帯域)  
98dB(可聴帯域)  
0.0035%(1kHz、可聴帯域)
- S/N比  
ダイナミックレンジ  
高調波歪率  
2.0Vrms
- 出力レベル  
アンバランス  
デジタル出力  
同軸出力(ピンジャック)  
0.5Vp-p / 75Ω

### □無線 LAN

- ネットワーク種類(無線 LAN 規格)  
IEEE802.11b 準拠  
IEEE802.11g 準拠  
(Wi-Fi® 準拠)\*
- 転送レート  
DS-SS：11/5.5/1Mbps(自動切り替え)  
OFDM：54/48/36/24/18/12/9/6Mbps  
(自動切り替え)
- セキュリティ  
SSID(ネットワーク名)  
WEP キー(ネットワークキー)(64/128 ビット)  
WPA-PSK(TKIP/AES)  
WPA2-PSK(TKIP/AES)  
2.412MHz～2.472MHz  
IEEE802.11b 準拠：13ch(DS-SS)  
(そのうち1チャンネルを使用)  
IEEE802.11g 準拠：13ch(OFDM)  
(そのうち1チャンネルを使用)

### □電源部

- 電源電圧 / 周波数  
消費電力  
待機時消費電力  
待機時消費電力(ネットワークコントロール“On”時)  
AC 100 V、50/60Hz  
16W  
0.2W  
6W

\* Wi-Fi® 準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「WiFi Alliance」の相互接続性テストに合格していることを示します。

- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

- 本機は国内仕様です。必ず AC 100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC 100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。



## 索引

<b>A</b>	
Add New Feature(新機能の追加)	16
AES	20, 43
AirPlay	32, 33, 43
Auto-Standby(オートスタンバイ)	15
<b>D</b>	
DLNA	43
<b>F</b>	
Firmware Update(ファームウェアのアップデート)	15
FLAC	43
Friendly Name(フレンドリーネーム)	21
<b>I</b>	
IEEE 802.11b	43
IEEE 802.11g	43
iTunes	32, 33, 43
<b>M</b>	
MP3	41, 42, 43
MPEG	43
MPEG-4 AAC	41
<b>N</b>	
Network Control(ネットワークコントロールの設定)	21
<b>T</b>	
TKIP	43
<b>U</b>	
Update(アップデートの通知)	16
Upgrade(アップグレードの通知)	16
<b>V</b>	
vTuner	42, 43

<b>W</b>	
WEP キー	20, 43
Wi-Fi	43
Windows Media DRM	42, 43
Windows Media Player	26, 43
WMA	41, 42, 44
WPA	20, 44
WPA2	20, 44
WPA-PSK/WPA2-PSK	20, 44
WPS	20, 44
<b>かな</b>	
<b>い</b>	
インターネットラジオ	24
<b>お</b>	
お気に入りリスト	27
<b>け</b>	
ケーブル	
イーサネットケーブル	12
音声ケーブル	10
システムケーブル	10
同軸デジタルケーブル	10
結露	6
<b>さ</b>	
再生	
iPod	28
USB メモリー	30, 41
インターネットラジオ	24
ネットワークオーディオ	24, 42
ミュージックサーバー	26
ランダム	30
リピート	30
サンプリング周波数	41, 42, 44

<b>せ</b>	
接続	
AV レシーバー	10
D/A コンバーター	10
アンプ	10
電源コード	13
ネットワーク	12
設定	
一般	15
初期	15
ネットワーク	17, 19, 21
<b>て</b>	
ディスプレイの明るさ	23
<b>に</b>	
入力ソース	23
<b>ね</b>	
ネットワーク名 (SSID)	44
<b>ひ</b>	
ビットレート	41, 42, 44
<b>ふ</b>	
付属品	6
ブラウズモード	28
フロントパネル	38
<b>ま</b>	
マイコンの初期化	36
<b>み</b>	
ミュージックサーバー	26
<b>め</b>	
メニュー一覧	14

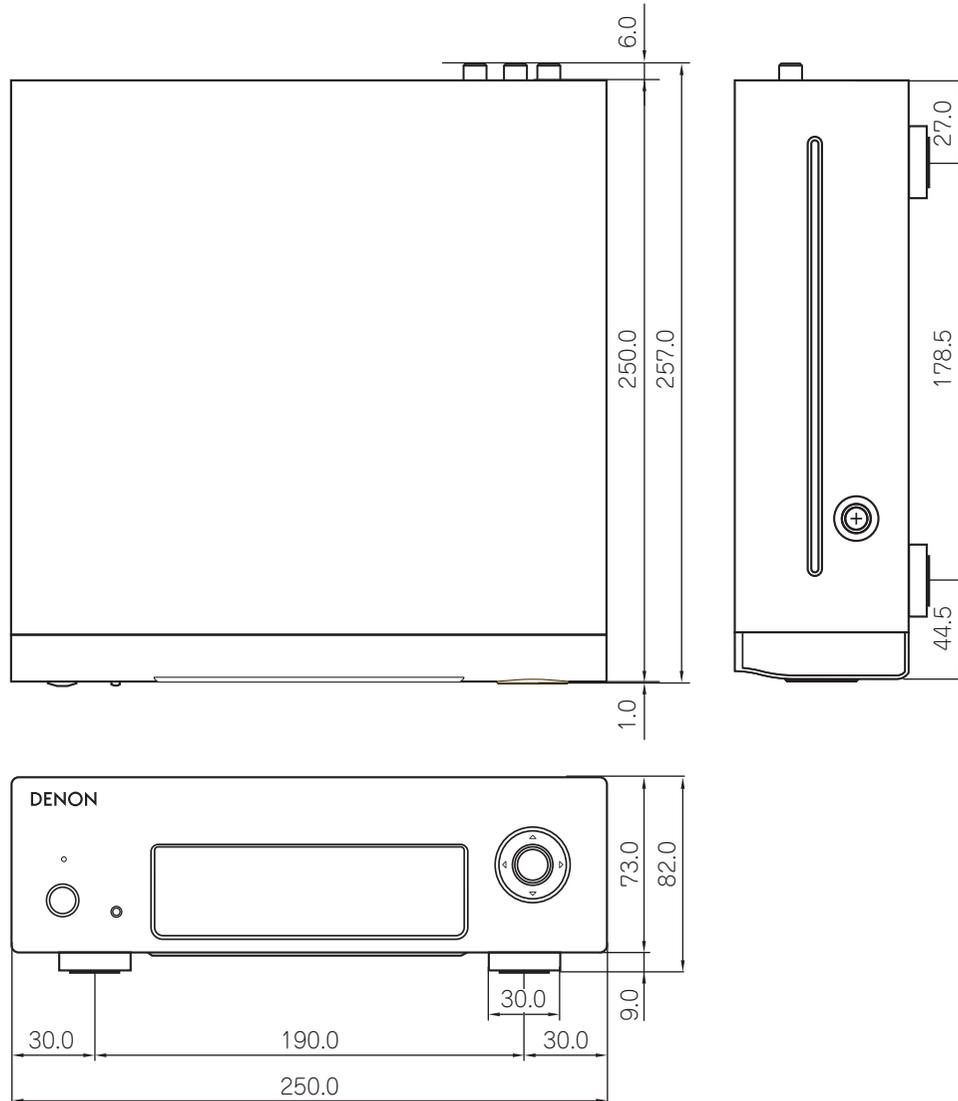
<b>も</b>	
文字	19, 20, 35, 36
文字入力	35, 36
<b>り</b>	
リアパネル	38
リモートモード	28
リモコン	7, 39, 40
電池の入れかた	7





# 寸法

単位：mm



質量：2.0kg

# DENON

デノンお客様相談センター

 044-670-5555

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間 9:30～12:00、12:45～17:30  
(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)

〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）  
については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。

<http://denon.jp/jp/support/pages/servicecenter.aspx>

株式会社 ディーアンドエムホールディングス